

2021年 秋季年会

年会プログラム

於 京都産業大学 (オンライン開催)

2021年9月13日(月)～9月15日(水)

日本天文学会

日本天文学会 2021年 秋季年会プログラム

期 日 2021年9月13日(月)～9月15日(水)

場 所 オンライン開催

電 話 090-4387-6893(学会事務局) <使用期間 2021年9月13日(月)～9月15日(水)>

E-Mail nenkai-committee@asj.or.jp(年会実行委員会)

月日	会場	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
9月9日 (木)							記者会見						
9月12日 (日)											公開講演会		
9月13日 (月)	A	Z1. 新電波単一鏡			昼 休 み 11:40-13:00	Z1. 新電波単一鏡			ポスター	天文教育 フォーラム	理事会		
	B	W. コンパクト天体				W. コンパクト天体							
	C	S. 活動銀河核				S. 活動銀河核							
	D	V3. 観測機器(X線・γ線)				V3. 観測機器(X線・γ線)							
	E	V2. 観測機器(光赤・重)				V2. 観測機器(光赤・重)							
	F	P2. 原始惑星系円盤				P2. 原始惑星系円盤							
	G	Y. 教育・広報・他				Y. 教育・広報・他							
	H					X. 銀河形成・進化							
	I					T. 銀河団							
	J	M. 太陽				M. 太陽							
9月14日 (火)	A	Z1. 新電波単一鏡			昼 休 み 11:40-13:00 (代議員総会)	N. 恒星・恒星進化			ポスター	会員全体集会			
	B	W. コンパクト天体				W. コンパクト天体							
	C	S. 活動銀河核				S. 活動銀河核							
	D	V3. 観測機器(X線・γ線)				V1. 観測機器(電波)							
	E	V2. 観測機器(光赤・重)				V2. 観測機器(光赤・重)							
	F	P1. 星形成				P1. 星形成							
	G	P3. 惑星系				P3. 惑星系							
	H	X. 銀河形成・進化				X. 銀河形成・進化							
	I	Q. 星間現象				Q. 星間現象							
	J	M. 太陽				M. 太陽							
9月15日 (水)	A	N. 恒星・恒星進化			昼 休 み 11:40-13:00	N. 恒星・恒星進化			ポスター	受賞記念講演			
	B	W. コンパクト天体				W. コンパクト天体							
	C	U. 宇宙論				U. 宇宙論							
	D	V1. 観測機器(電波)				V1. 観測機器(電波)							
	E	R. 銀河				R. 銀河							
	F	P1. 星形成				P1. 星形成							
	G	P3. 惑星系											
	H	X. 銀河形成・進化				X. 銀河形成・進化							
	I	Q. 星間現象				Q. 星間現象							
	J												
		9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	

※セッション(午前) 09:30～11:40

※セッション(午後) 13:00～15:10

※ポスターセッション 15:30～16:30

◎講演数

講演数：合計 592

(口頭講演 (a)：498、ポスター講演 (b)：74、ポスター講演 (c)：20)

◎参加登録について (参加希望者は、必ず事前に参加登録をしてください)

2016年秋季年会より、通常セッションにおける講演は会員に限られております。

○参加費用

	会 員	非会員
参 加 費	無 料	無 料
講演登録費	3,000 円 (不課税) (1 講演につき) (但し事前支払がない場合は、会員 4,000 円 / 非会員 11,000 円)	10,000 円 (1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円 (消費税込み) (購入希望者のみ)	2,000 円 (消費税込み)

○参加登録受付場所：学会ホームページ (<https://www.asj.or.jp/>)

○参加登録受付期間：2021 年 7 月末～8 月 31 日 (事前登録が必要。但し講演者は不要です)

※参加費については今回は無料です。

※講演登録者は、講演申し込み後にキャンセル等しても、講演登録費の返金はいたしません。

◎講演に関する注意

- 口頭発表は 10 会場で並行して行います。口頭講演 (添字 a) は、口頭発表 9 分、質疑応答 3 分です。ポスター講演 (添字 b) は、口頭発表 3 分、3 講演で 12 分を割り当て、座長の判断で質疑応答を行います。

※時間厳守：講演制限時間を超過した場合は、直ちに降壇していただきますので、講演者の皆様は制限時間を厳守できるよう特に万全の準備をお願いします。

- PC 及び通信環境はご自身でご用意をお願いいたします。発表に要する通信料等は、発表者の自己負担です。Zoom を利用しますので、学会ホームページをご覧になり、事前にダウンロードや動作確認をしてください。また、発表者自身のインターネット接続、映像・音声等のトラブルの対応はできません。基本的にはご自身での解決をお願いいたします。

- 講演者は、セッション開始時刻の 20 分前から 10 分前までにご入室ください。

※開始 20 分前から 10 分前まで、希望者は画面共有のテストができます。

※開始 10 分前からは、担当者が講演方法の説明をいたします。

視聴者は、セッション開始時刻の 5 分前からご入室ください。

また入室の際には、下記の命名規則に従って「参加者名」を設定してください。

参加種別	「参加者名」の命名規則	例
講演者	「*(アスタリスク)」+「講演番号」+「氏名」+「(所属)」	*Z141a 天文花子 (天文大学)
視聴者	「氏名」+「(所属)」	天文花子 (天文大学)

- ポスターセッション (添字 b, c) は Slack を利用します。コアタイムの間、極力リアルタイムで返信をしてください。(添字 a の講演者にも Slack チャンネルはご用意いたします)
- 講演の実施方法の詳細は、学会ホームページに掲載いたします。事前に説明をよく読んで、Zoom の操作手順に関する理解を深めておいていただくようお願いいたします。
- 受信画像や発表資料の保存 (キャプチャを含む)、録音や配布は固くお断りします。

◎会期中の行事

月 日	時 間	会 場	行 事 名
9月9日(木)	13:00～15:00	オンライン	記者会見
9月12日(日)	17:30～20:00	オンライン	公開講演会
9月13日(月)	16:30～18:00	オンライン	天文教育フォーラム
9月14日(火)	16:30～18:00	オンライン	会員全体集会
9月15日(水)	16:30～18:00	オンライン	受賞記念講演(研究奨励賞)

◎会合一覧表

※今回、通常の会合は募集しておりません。

月 日	時 間	会 場	会 合 名	参加可否*
9月13日(月)	18:00～19:00	オンライン	理事会	D
9月14日(火)	11:40～13:00	オンライン	代議員総会	D

※年会参加者の参加可否の説明(オープン化の程度)

- A: 年会参加者なら誰でも大歓迎で是非来てほしい
- B: 年会参加者で興味を持った人には広く門戸を開いている
- C: 関係グループ向けの会合だが年会参加者なら特に拒みはしない
- D: 関係者のみにクローズした会合で非公開である

◎天文教育フォーラム：「研究者とのコラボレーションによる事業企画」

日 時：2021年9月13日(月) 16:30～18:00

場 所：オンライン会場(学会ホームページにて事前登録が必要)

概 要： 天文学者と科学コミュニケーターの「コラボレーション」の必要性が重視されるようになって久しく、さまざまな社会教育機関で研究者の協力を得た企画が行われている。学問の専門分化が進み、利用者の望むクオリティも高まっている昨今、専門家との共同事業としての企画展示やコンテンツの必要性は以前にも増して高まっている。

今回のフォーラムでは、あらためて研究者と科学コミュニケーターのコラボレーションをテーマに、天文学をより正しく魅力的に世間に広める取り組みのありかたを議論したい。そのため、企画・監修の経験豊富な招待講師をお招きしてお話を伺うとともに、参加者全体でディスカッションを行いたいと考えている。

話題提供：新井達之氏(葛飾区郷土と天文の博物館)

寺藺淳也氏(合同会社ムーン・アンド・プラネット代表)

本間希樹氏(国立天文台)

世 話 人：松本佳也(広島市交通科学館)、鴈野重之(九州産業大学)、石田光宏(戸塚高校)、田崎文得(国立天文台)

主 催：公益社団法人 日本天文学会 / 一般社団法人 日本天文教育普及研究会

◎日本天文学会公開講演会

日 時：2021年9月12日（日）17：30～20：00（予定）
 場 所：オンライン会場（学会ホームページにて事前登録が必要）
 対 象：中学生以上・一般向け
 テー マ：「せいめい望遠鏡で迫る宇宙の謎」

汎用可視光赤外線望遠鏡として3.8mという東アジア最大の口径を誇るせいめい望遠鏡は、2018年に完成し、2019年に科学的観測を開始しました。今回の公開講演会では、最先端の技術が注ぎ込まれたせいめい望遠鏡の紹介を望遠鏡そばからの実況中継を含めて行ないます。また、この望遠鏡を使って続々と上がりつつある最新の研究成果の中から、超新星爆発と恒星スーパーフレアを取り上げてわかりやすく解説します。

講師・タイトル：下記をご参照ください。

参加費：無料（事前登録制）

定 員：1,000名（先着順）

<講演内容の紹介>

講演1：「せいめい望遠鏡のここがすごい！」

講師：栗田光樹夫（京都大学 准教授）、木野勝（京都大学 助教）

東アジア最大にして日本初の分割鏡望遠鏡せいめいについて紹介します。せいめい望遠鏡計画では、将来発展も見込んで分割鏡の製造とその制御技術を、突発天体をいち早く観測するための軽量の望遠鏡架台を開発しました。本講演では、それらの技術に現地からの中継も交えて迫りたいと思います。

講演2：「新時代の幕開け！せいめい望遠鏡で切り拓く多様な超新星の素顔」

講師：川端美穂（京都大学 研究員）

超新星は、恒星進化の最終段階において引き起こされる宇宙最大規模の爆発現象です。近年、新天体の大規模探索が開始され、従来の理論的枠組みでは全く説明出来ないような超新星の発見への期待も高まっています。私たちは、せいめい望遠鏡を中心に国内10台以上もの望遠鏡を総動員して近傍に現れた超新星を精力的に観測しています。その結果、超新星はこれまで考えられてきたよりも多様性に富んでいることがわかってきました。さらに、超新星に至る恒星進化や爆発機構に迫りうる重要な観測事実も明らかにすることが出来ました。本講演では、これらの研究成果について解説します。

講演3：「恒星で起こるスーパーフレア」

講師：野上大作（京都大学 准教授）

太陽はその光で地球におけるあらゆる生命に恵みをもたらすだけでなく、フレアと呼ばれる爆発現象では我々の生活に大きな影響を及ぼす可能性があります。近年、太陽に似た恒星で、太陽で観測された最大級のフレアの10倍以上のエネルギーを持つスーパーフレアが起こることが明らかになってきました。さて、スーパーフレアは太陽でも起こるのでしょうか？またスーパーフレアは惑星への影響は及ぼすのでしょうか？本講演では、せいめい望遠鏡を用いた我々の観測から明らかになってきた、恒星でのスーパーフレアについての研究成果を紹介します。

主 催：公益社団法人 日本天文学会

共 催：京都大学大学院理学研究科宇宙物理学教室、同附属天文台

※プログラム、参加申込方法につきましては学会ホームページ（<https://www.asj.or.jp/>）をご覧ください。

口頭セッション 9月13日(月)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	新電波 単一鏡	コンパクト 天体	活動銀河核	観測機器 (X線・γ線)	観測機器 (光赤・重)	原始惑星系 円盤	教育・他			太 陽
09:30	Z101a ゝ Z107r 議論	W01a	S01a	V301a	V201a	P201a	Y01a	-	-	M01a
09:42		W02a	S02a	V302a	V202a	P202a	Y02a	-	-	M02a
09:54		W03a	S03a	V303a	V203a	P203a	Y03a	-	-	M03a
10:06		W04a	S04a	V304a	V204a	P204a	Y04a	-	-	M04a
10:18		W05a	S05a	V305a	V205a	P205a	Y05a	-	-	M05a
10:30		W06a	S06a	V306a	V206a	P206a	Y06a	-	-	M06a
10:42		W07a	S07a	V307a	V207a	P207a	Y07a	-	-	M07a
10:54		W08a	S08a	V308a	V208a	P208a	Y08a	-	-	M08a
11:06		W09a	S09a	V309a	V209b V210b V211b	P209a	Y09a	-	-	M09b M10b M11b
11:18		W10a	S10b S11b S12b	V310b V311b V312b	V212b V213b	P210a	Y10a	-	-	M12b M13b M14b
11:30	W11a	S14b	-	-	-	-	-	-	M15b M16b	
11:42	-	W12b W13b W14b	-	-	-	-	-	-	-	
11:40	昼休み									
開始時刻	新電波 単一鏡	コンパクト 天体	活動銀河核	観測機器 (X線・γ線)	観測機器 (光赤・重)	原始惑星系 円盤	教育・他	銀河形成	銀河団	太 陽
13:00	Z108r ゝ Z116a	W16a	S15a	V313a	V214a	P211a	Y13a	X01a	T01a	M20a
13:12		W17a	S16a	V314a	V215a	P212a	Y14a	X02a	T02a	M21a
13:24		W18a	S17a	V315a	V216a	P213a	Y15a	X03a	T03a	M22a
13:36		W19a	S18a	V316a	V217a	P214a	Y16a	X04a	T04a	M23a
13:48		W20a	S19a	V317a	V218a	P215a	Y17a	X05a	T05a	M24a
14:00		W21a	S20a	V318a	V219a	P216a	Y18a	X06a	T06a	M25a
14:12		W22a	S21a	V319a	V220a	P217a	Y19a	X07a	T07a	M26a
14:24		W23a	S22a	V320a	V221b V223b V224b	P218b P219b P220b	Y20a	X08a	-	M27a
14:36		W24a	S23a	V321a	V225b V226b V227b	-	Y21a	X09b X10b X11b	-	M28a
14:48		W25a	S24a	V322a	-	-	-	X12b X13b	-	M29a
15:00	W26b W27b	-	V323b	-	-	-	-	-	M30a	
15:30	ポスター									
16:30	天文教育フォーラム									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります

口頭セッション 9月14日(火)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	新電波 単一鏡	コンパクト 天体	活動銀河核	観測機器 (X線・γ線)	観測機器 (光赤・重)	星形成	惑星系	銀河形成	星間現象	太 陽
09:30	Z117a Z121a 総合討論	W28a	S25a	V324a	V228a	P101a	P301a	X15a	Q01a	M31a
09:42		W29a	S26a	V325a	V229a	P102a	P302a	X16a	Q02a	M32a
09:54		W30a	S27a	V326a	V230a	P103a	P303a	X17a	Q03a	M33a
10:06		W31a	S28a	V327a	V231a	P104a	P304a	X18a	Q04a	M34a
10:18		W32a	S29a	V328a	V232a	P105a	P305a	X19a	Q05a	M35a
10:30		W33a	S30a	V329a	V233a	P106a	P306a	X20a	Q06a	M36a
10:42		W34a	S31a	V330a	V234a	P108a	P307b P308b P309b	X21a	Q07a	M37a
10:54		W35a	S32a	V331a	V235a	P109a	-	X22a	Q08a	M38a
11:06		W36a	-	V332a	-	P110a	-	X23a	Q09a	M39a
11:18		W37a	-	V333a	-	P111a	-	X24a	Q10b Q11b	M40a
11:30	W38a	-	-	-	P112a	-	-	-	-	
11:42	-	W39b W40b W41b	-	-	-	P113b P114b P115b	-	-	-	-
11:40	昼休み(代議員総会)									
開始時刻	恒星進化	コンパクト 天体	活動銀河核	観測機器 (電波)	観測機器 (光赤・重)	星形成	惑星系	銀河形成	星間現象	太 陽
13:00	N01a	W43a	S33a	V101a	V236a	P116a	P310a	X25a	Q12a	M41a
13:12	N02a	W44a	S34a	V102a	V237a	P117a	P311a	X26a	Q13a	M42a
13:24	N03a	W45a	S35a	V103a	V238a	P118a	P312a	X27a	Q14a	M43a
13:36	N04a	W46a	S36a	V104a	V239a	P119a	P313a	X28a	Q15a	M44a
13:48	N05a	W47a	S37a	V105a	V240a	P120a	P314a	X29a	Q16a	M45a
14:00	N06a	W48a	S38a	V106a	V241a	P121a	P315a	X30a	Q17a	M46a
14:12	N07a	W49a	S39a	V107a	V242b V243b V244b	P122a	P316a	X31a	Q18a	M47a
14:24	N08a	W50a	-	V108a	V245b V246b V247b	P123a	P317a	X32a	Q19a	M48a
14:36	N09a	W51a	-	V109a	V248b V249b	P124a	P318a	X33a	Q20a	M49a
14:48	N10a	W52a	-	V110b V111b	-	P125a	P319a	X34a	Q21a	M50a
15:00	-	-	-	-	-	P126b	-	-	-	-
15:30	ポスター									
16:30	会員全体集会									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります

口頭セッション 9月15日(水)

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場	F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
開始時刻	恒星進化	コンパクト天体	宇宙論	観測機器(電波)	銀河	星形成	惑星系	銀河形成	星間現象	
09:30	N11a	W53a	U01a	V112a	R01a	P127a	P320a	X35a	Q22a	-
09:42	N12a	W54a	U02a	V113a	R02a	P128a	P321a	X36a	Q23a	-
09:54	N13a	W55a	U03a	V114a	R03a	P129a	P322a	X37a	Q24a	-
10:06	N14a	W56a	U04a	V115a	R04a	P130a	P323a	X38a	Q25a	-
10:18	N15a	W57a	U05a	V116a	R05a	P131a	P324a	X39a	Q26a	-
10:30	N16a	W58a	U06a	V117a	R06a	P132a	P325a	X40a	Q27a	-
10:42	N17a	W59a	U07a	V118a	R07a	P133a	P326a	X41a	Q28a	-
10:54	N18a	W60a	U08a	V119a	R08a	P134a	P327a	X42a	Q29a	-
11:06	N19a	W61a	U09a	V121a	R09a	P135a	P328a	X43a	Q30a	-
11:18	N20b	-	U10b	V122a	R10a	P136a	P329a	X44a	Q31a	-
11:30	-	-	-	V123b V124b	R11a	-	-	-	-	-
11:42	-	-	-	-	R12b	-	-	-	-	-
11:40	昼休み									
開始時刻	恒星進化	コンパクト天体	宇宙論	観測機器(電波)	銀河	星形成		銀河形成	星間現象	
13:00	N21a	W62a	U12a	V125a	R13a	P137a	-	X45a	Q32a	-
13:12	N22a	W63a	U13a	V126a	R14a	P138a	-	X46a	Q33a	-
13:24	N23a	W64a	U14a	V127a	R15a	P139a	-	X47a	Q34a	-
13:36	N24a	W65a	U15a	V128a	R16a	P140a	-	X48a	Q35a	-
13:48	N25a	W66a	U16a	V129a	R17a	P141a	-	X49a	Q36a	-
14:00	N26a	W67a	U17a	V130a	R18a	P142a	-	X50a	-	-
14:12	N27a	W68a	U18a	V131a	R19a	P143a	-	X51a	-	-
14:24	N28a	W69a	U19a	V132b V133b V134b	R20a	P144a	-	X52a	-	-
14:36	N29a	W70a	U20a	-	R21a	P145a	-	X53a	-	-
14:48	N30a	W71a	U21a	-	R22a	P146b P147b	-	X54a	-	-
15:00	-	-	-	-	-	-	-	X55a	-	-
15:30	ポスター									
16:30	受賞記念講演(研究奨励賞)									

※各セッション(午前/午後)の最後に質疑応答(10分)があります

ポスターセッション 9月13日(月)・9月14日(火)・9月15日(水)

<p>【Z1. 新電波単一鏡】(2)</p> <p>Z113b Z114b</p>	<p>【U. 宇宙論】(2)</p> <p>U10b U11c</p>
<p>【M. 太陽】(11)</p> <p>M09b M10b M11b M12b M13b</p> <p>M14b M15b M16b M17c M18c</p> <p>M19c</p>	<p>【V1. 観測機器(電波)】(8)</p> <p>V110b V111b V120c V123b V124b</p> <p>V132b V133b V134b</p>
<p>【N. 恒星・恒星進化】(1)</p> <p>N20b</p>	<p>【V2. 観測機器(光赤外・重力波・その他)】(23)</p> <p>V209b V210b V211b V212b V213b</p> <p>V221b V222c V223b V224b V225b</p> <p>V226b V227b V242b V243b V244b</p> <p>V245b V246b V247b V248b V249b</p> <p>V250c V251c V252c</p>
<p>【P1. 星・惑星形成(星形成)】(7)</p> <p>P107c P113b P114b P115b P126b</p> <p>P146b P147b</p>	<p>【V3. 観測機器(X線・γ線)】(4)</p> <p>V310b V311b V312b V323b</p>
<p>【P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)】(6)</p> <p>P218b P219b P220b P221c P222c</p> <p>P223c</p>	<p>【W. コンパクト天体】(10)</p> <p>W12b W13b W14b W15c W26b</p> <p>W27b W39b W40b W41b W42c</p>
<p>【P3. 星・惑星形成(惑星系)】(3)</p> <p>P307b P308b P309b</p>	<p>【X. 銀河形成・進化】(6)</p> <p>X09b X10b X11b X12b X13b</p> <p>X14c</p>
<p>【Q. 星間現象】(2)</p> <p>Q10b Q11b</p>	<p>【Y. 天文教育・広報普及・その他】(2)</p> <p>Y11c Y12c</p>
<p>【R. 銀河】(2)</p> <p>R12b R23c</p>	
<p>【S. 活動銀河核】(5)</p> <p>S10b S11b S12b S13c S14b</p>	

Z1. 新電波単一鏡

Z1. 次世代サブミリ波 - テラヘルツ地上単一鏡

9月13日(月) 午前・A会場		9月13日(月) 午後・A会場	
09:30	Z101a Large Submillimeter Telescope (LST): 6. プロジェクトの概要と今後の展望 河野孝太郎(東京大学)	13:00	Z108r Exploring the Unseen Distant Universe with Large Aperture Submillimeter- Terahertz Observations Hanae Inami (Hiroshima University)
09:42	Z102a Large Submillimeter Telescope (LST): 7. 望遠鏡仕様 田村陽一(名古屋大学)	13:24	Z109a 近傍渦巻銀河M83の[CI] mapping 観測 宮本祐介(国立天文台)
09:54	Z103a 南極テラヘルツ望遠鏡計画 久野成夫(筑波大学)	13:36	Z110a 南極からの[N II] 1.46THz 輝線による 銀河面サーベイ 梅本智文(国立天文台)
10:06	Z104r 広視野サブミリ波探査で解き明かす巨 大銀河の形成 但木謙一(国立天文台)	13:48	Z111a 次世代単一鏡による高速度コンパクト雲 の研究 竹川俊也(神奈川大学)
10:30	Z105a 高赤方偏移銀河のダスト温度と高周波 観測の重要性 平下博之(ASIAA)	14:00	Z112a 大口径望遠鏡による広域マッピング観測: LMT 50m 望遠鏡搭載 2mm 帯受信機に よる Orion A 領域の電波再結合線観測 結果及び LST 将来サイエンス 吉村勇紀(東京大学)
10:42	Z106a 広領域遠方輝線銀河観測による宇宙再 電離現象の探究 森脇可奈(東京大学)	14:12	Z113b LMT50m 鏡搭載 2mm 帯受信機 B4R を 用いた Orion-KL 領域マッピング観測に よる分子の存在量比の観測結果報告 米津鉄平(大阪府立大学)
10:54	Z107r サブミリ波・テラヘルツ帯での突発天体・ 高エネルギー変動天体 井上進(文教大学/理化学研究所)	14:15	Z114b 初期宇宙でのクエーサー前駆体探査に おける電波単一鏡の有用性 泉拓磨(国立天文台/総合研究大学院 大学)
11:18	議論	14:18	議論
		14:24	Z115r 星形成の未解明問題の解明に向けて 中村文隆(国立天文台)
		14:48	Z116a ALMA およびミリ波サブミリ波大型地上 単一鏡で探るフィラメント形成 島尻芳人(国立天文台)
		15:00	質疑応答(10分)

M. 太陽

9月14日(火) 午前・A会場		9月13日(月) 午前・J会場	
09:30	Z117a 次世代地上単一鏡の分子輝線観測で探る、原始星エンベロープの電離率と化学的多様性の起源 野津翔太(理化学研究所)	09:30	M01a 赤道加速を達成した超高解像度計算の解析結果 堀田英之(千葉大学)
09:42	Z118r ミリ波サブミリ波電波望遠鏡を支える受信機技術の動向と将来開発 小嶋崇文(国立天文台)	09:42	M02a 高磁気レイノルズ数での大規模磁場の成因に関する解析 畠田遼太(東京大学)
10:18	Z119a ビームパターンの変形の解析的な予測とその応用 今田大皓(国立天文台)	09:54	M03a 太陽内部対流が黒点形成・進化へ与える影響 金子岳史(名古屋大学)
10:30	Z120r 次世代の地上単一鏡装置開発におけるデータ科学の応用 谷口暁星(名古屋大学)	10:06	M04a 光球での振動によるエネルギー輸送について 松田有輝(京都大学)
11:06	Z121a 超広視野時代のサブミリ波連続波観測の大気放射の除去について 大島泰(国立天文台)	10:18	M05a 機械学習を用いた静穏領域における水平速度場予測の観測への適用 正木寛之(千葉大学)
11:18	総合討論:(i)科学的課題,(ii)技術的課題,(iii)実現へのロードマップ	10:30	M06a Mask R-CNNを用いた活動領域の検出における空間解像度への依存性の検証 小松耀人(新潟大学)
		10:42	M07a 畳み込みニューラルネットワークを用いた太陽活動領域の成長予測モデル構築 大沼伊織(新潟大学)
		10:54	M08a オーストリアの修道院文献から復元するダルトン極小期の太陽活動 早川尚志(名古屋大学)
		11:06	M09b 太陽フレアX線・EUV放射とデリンジャー現象の関係 北島慎之典(防衛大学校)
		11:06	M10b High-time resolution physics in stellar flares from a 7-day multi-wavelength campaign on young planet-hosting M dwarf flare star AU Mic 野津湧太(東京工業大学/コロラド大学)
		11:06	M11b シア磁場非対称磁気リコネクションの構造とエネルギー変換 新田伸也(筑波技術大学)
		11:18	M12b 離散的にエネルギー方程式の整合性を保つ頑健な磁気流体解法の提案 飯島陽久(名古屋大学)

11:18	M13b	飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡偏光分光観測装置搭載の近赤外カメラ精度評価 山崎大輝(京都大学)	9月13日(月)午後・J会場
11:18	M14b	太陽フレアの経験予測と物理予測の比較 近藤芳穂(名古屋大学)	13:00 M20a 惑星形成が太陽内部構造に及ぼす影響について 國友正信(久留米大学)
11:30	M15b	Ar XIVを使ったポストフレア領域の電子密度評価 石神瞬(総合研究大学院大学)	13:12 M21a スーパーカミオカンデ実験における太陽フレア由来のニュートリノ探索 岡本幸平(東京大学)
11:30	M16b	Data-driven MHD Simulation of Solar Active Region NOAA 11283 Yeongmin Kang(名古屋大学)	13:24 M22a Super-Kamiokande 実験における太陽ニュートリノ観測の最新結果 中野佑樹(神戸大学)
	M17c	ひので磁場データを用いた太陽極域の表面速度の算出 的場健悟(名古屋大学)	13:36 M23a スーパーカミオカンデによる太陽反電子ニュートリノ探索研究 伊藤博士(東京理科大学)
	M18c	機械学習を用いた太陽黒点の出現緯度・経度・傾き角度の予測 道脇健斗(名古屋大学)	13:48 M24a KamLANDによる太陽フレアニュートリノの探索 川田七海(東北大学)
	M19c	20世紀の写真乾板を用いた太陽Ca K線強度長期変動解析 格和純(国立天文台)	14:00 M25a 巨大フレア同時観測で得た軟X線とH α 線のフレア減衰時間の相関 河合広樹(中央大学)
11:42		質疑応答(10分)	14:12 M26a K型主系列星LQ Hyaにおけるスーパーフレアの測光分光同時観測 前原裕之(国立天文台)
			14:24 M27a TESSで観測したけんびきょう座AT星のフレア検出方法およびフレア発生頻度分布について 岡本豊(中央大学)
			14:36 M28a M型星フレアのH α 線分光・可視光測光観測で迫る恒星の噴出現象 行方宏介(国立天文台)
			14:48 M29a 磁気リコネクションに伴う粒子加速の理解を目指す衛星計画PhoENIXの進捗報告(2021年秋) 成影典之(国立天文台)
			15:00 M30a 飛騨天文台ドームレス太陽望遠鏡の新偏光分光観測システム 一本潔(京都大学)
			15:12 質疑応答(10分)

9月14日(火) 午前・J会場		9月14日(火) 午後・J会場	
09:30	M31a 国際大気球太陽観測実験 SUNRISE-3 : 近赤外線偏光分光装置SCIPの偏光試験 川畑佑典(国立天文台)	13:00	M41a 野辺山強度偏波計によるマイクロ波円偏波率でみる太陽周期 下条圭美(国立天文台)
09:42	M32a A Fast-filament Eruption Observed in the H α Line: Imaging Spectroscopy Diagnostic and Modeling Denis Pavel Cabezas (Kyoto University)	13:12	M42a 2017年・2019年の皆既日食における白色光コロナの測光・偏光測定 花岡庸一郎(国立天文台)
09:54	M33a SMART/SDDIIによる太陽大気における波動の伝播と磁場との関係の観測的研究 白戸春日(京都大学)	13:24	M43a 深層学習を用いた太陽フレア予測モデルによる予報運用評価 西塚直人(情報通信研究機構)
10:06	M34a Lyman 線のダブルピーク強度に非対称性を作る彩層速度構造 長谷川隆祥(宇宙航空研究開発機構/東京大学)	13:36	M44a 数値モデルを用いた太陽フレア放射による電離圏変動の検証 西本将平(防衛大学校)
10:18	M35a 多波長観測と統計平衡コードによるプロミネンスの物理量診断 橋本裕希(京都大学)	13:48	M45a 京都大学飛騨天文台 SMART/SDDIを用いた“星としての太陽活動現象”とH α スペクトルの対応に関する研究 大津天斗(京都大学)
10:30	M36a 数値的に解像できない遷移層への対処法と分光観測量への影響 飯島陽久(名古屋大学)	14:00	M46a 太陽フレア、恒星フレアのエネルギー頻度分布 桜井隆(国立天文台)
10:42	M37a Solar-C (EUVST) に向けた EUV スペクトル線仮想分光観測 鄭祥子(宇宙航空研究開発機構)	14:12	M47a Constrained-Transport 法を用いた磁気流体力学緩和法の開発 三好隆博(広島大学)
10:54	M38a 高速太陽風流源である極域コロナの輝線非熱速度幅の測定 原弘久(国立天文台)	14:24	M48a 次世代太陽風観測装置による太陽圏研究 岩井一正(名古屋大学)
11:06	M39a 粒状斑間隙からのエネルギー発生を考慮したコロナループの輻射流体シミュレーション 国吉秀鷹(東京大学)	14:36	M49a ICME 磁場の変形に関するシミュレーション研究 森美南(名古屋大学)
11:18	M40a 軟 X 線マイクロフレアの足元から分かること: ひので-IRIS-ALMA 観測から 清水敏文(宇宙航空研究開発機構)	14:48	M50a マクスウェル方程式から導出した MHD 方程式 柴崎清登(太陽物理学研究所)
11:30	質疑応答(10分)	15:00	質疑応答(10分)

N. 恒星・恒星進化

9月14日(火) 午後・A会場		9月15日(水) 午前・A会場			
13:00	N01a	ボルツマン輻射流体計算で探る超新星爆発における原子核組成の影響 原田了(理化学研究所)	09:30	N11a	爆発から約1年後に赤外超過を示したIIn型超新星SN 2017hccのSED解析 濱田大晴(広島大学)
13:12	N02a	重力崩壊型超新星における核崩壊に伴う核 γ 線・電子捕獲X線の検出可能性 藤本信一郎(熊本高等専門学校)	09:42	N12a	超新星後期ニュートリノ放射の解析 諏訪雄大(東京大学)
13:24	N03a	多次元対流効果を導入した超新星爆発の球対称1次元シミュレーション 佐々木俊輔(国立天文台/総合研究大学院大学)	09:54	N13a	連星系内での超新星爆発の後期観測から得られる連星進化への制限 小形美沙(早稲田大学)
13:36	N04a	Ia-CSM型超新星SN 2020uemの測光・分光・偏光観測に基づくCSM構造 宇野孔起(京都大学)	10:06	N14a	連星中性子星形成に至った超新星の、残骸としての長期間進化 松岡知紀(京都大学)
13:48	N05a	電子捕獲型超新星2018zd 平松大地(カリフォルニア大学サンタバーバラ校)	10:18	N15a	球対称降着流における熱核反応の役割 茂山俊和(東京大学)
14:00	N06a	金属欠乏星のNi/Fe組成比による低金属量環境での電子捕獲型超新星レートの制限 鈴木昭宏(国立天文台)	10:30	N16a	高速回転大質量星の最終進化における酸素殻燃焼3次元流体シミュレーション 吉田敬(京都大学)
14:12	N07a	光度曲線の系統的調査に基づく重力崩壊型超新星の爆発機構への制限 齋藤晟(東北大学)	10:42	N17a	Rate density of tidal disruption events of white dwarfs in the local universe 谷川衝(東京大学)
14:24	N08a	X線による超新星残骸Cassiopeia Aにおける高エントロピー上昇流の発見 佐藤寿紀(立教大学)	10:54	N18a	新SiOレーザー検出が示唆する「宇宙の噴水」天体の進化急速進行 甘田溪(鹿児島大学)
14:36	N09a	大質量星の爆発間際の大規模な質量放出とその後の超新星の光度曲線の研究 武井勇樹(東京大学/理化学研究所)	11:06	N19a	古典新星V1405 Casの最初期のスペクトル進化 田口健太(京都大学)
14:48	N10a	Ultra-Stripped Supernovaeにおける ^{56}Ni 生成とfallback質量降着について 澤田涼(東京大学)	11:18	N20b	太陽型星EK Draの長時間スーパーフレアの $\text{H}\alpha$ 線分光・可視測光観測II 行方宏介(国立天文台)
15:00		質疑応答(10分)	11:30		質疑応答(10分)

P1. 星・惑星形成 (星形成)

9月15日(水) 午後・A会場		9月14日(火) 午前・F会場	
13:00	N21a WR140のX線スペクトル解析によるプラズマ診断 宮本明日香(東京都立大学)	09:30	P101a 宇宙初期における星質量分布とその進化: CMB 温度依存性について 鄭昇明(東北大学)
13:12	N22a 金属欠乏星におけるs-processの特性とその起源 山田志真子(北海道大学)	09:42	P102a 輻射輸送の近似法が同一ミニハロー内の初代星形成に与える影響 千秋元(東北大学)
13:24	N23a LAMOST/すばる望遠鏡による金属欠乏星組成調査II.リチウム組成 青木和光(国立天文台)	09:54	P103a 収縮する始原ガスコアで増幅された乱流の飽和と散逸 東翔(甲南大学)
13:36	N24a Why the star expands 藤本正行(北海道大学)	10:06	P104a 初代星形成における大質量原始星近傍からのフィードバックについて 木村和貴(京都大学)
13:48	N25a 天の川銀河のミラ型変光星と漸近巨星分枝星の進化の金属量依存性III 浦郷陸(鹿児島大学)	10:18	P105a 磁場環境下での初代星形成における両極性拡散の効果 定成健児エリック(東北大学)
14:00	N26a ひまわり衛星を用いたベテルギウスの可視近赤外多色撮像モニタリング 谷口大輔(東京大学)	10:30	P106a Multiplicity of the first stars confirmed by supervised classification of extremely metal-poor stars Tilman Hartwig (The University of Tokyo)
14:12	N27a LSP 赤色巨星変光星の周期光度関係と脈動モード 高山正輝(兵庫県立大学)		P107c Simulations of Inhomogeneous Metal Mixing after the first Supernovae Tilman Hartwig (The University of Tokyo)
14:24	N28a 太陽型の零歳主系列星における活動性と黒点による光度変化 山下真依(兵庫県立大学)	10:42	P108a Massive Core Formation in Magnetized, Turbulent, High-speed Colliding Clouds Sakre Nimit Deepak (Hokkaido University)
14:36	N29a γ Dor 型脈動変光星における内核と外層の振動の共鳴についての星震学 徳野鷹人(東京大学)	10:54	P109a フィラメント状分子雲内において擬似観測される分子雲コア角運動量の性質 三杉佳明(名古屋大学)
14:48	N30a μ Gem からの磁気駆動風への乱流圧の影響 保田悠紀(北海道大学)	11:06	P110a 分子雲形成初期の乱流構造と乱流星形成 小林将人(東北大学)
15:00	質疑応答(10分)	11:18	P111a ALMA ACA サーベイで探る Taurus 領域分子雲コア進化の統計的研究(6): 分子雲コア速度構造の進化とその起源 徳田一起(大阪府立大学/国立天文台)
		11:30	P112a BISTRO Project Status (10) Tetsuo Hasegawa(NAOJ)

11:42	P113b	ダークマターとバリオン間の相対速度による超音速駆動ガス天体形成 仲里佑利奈(東京大学)	9月14日(火)午後・F会場
11:42	P114b	ALMAを用いた大マゼラン雲 N159 領域の観測:分子雲の全体像 南大晴(大阪府立大学)	13:00 P116a 星団形成における EUV/FUV 輻射フィードバック 福島肇(筑波大学)
11:42	P115b	数値流体シミュレーションで探る、フィラメント状分子雲同士の衝突進化過程 柏木頼我(国立天文台/総合研究大学院大学)	13:12 P117a Formation of the Orion Nebula Cluster 藤井通子(東京大学)
11:54		質疑応答(10分)	13:24 P118a 大マゼラン雲 N159W-North 領域の大質量クランプの性質と形成過程 南大晴(大阪府立大学)
			13:36 P119a ALMAを用いた巨大星団 RCW38 に対する高密度ガスの観測 鈴木大誠(大阪府立大学)
			13:48 P120a Methanol detection toward young stellar objects in the Small Magellanic Cloud Sarolta Zahorecz (Osaka Prefecture University/NAOJ)
			14:00 P121a 巨大分子雲における星形成と銀河進化:大マゼラン雲の Type 分類の再吟味 福井康雄(名古屋大学)
			14:12 P122a 巨大分子雲における星形成と銀河進化:M33 小西亜侑(大阪府立大学)
			14:24 P123a 巨大分子雲における星形成と銀河進化:NGC 4321 (M100) 出町史夏(名古屋大学)
			14:36 P124a Discovery of two infrared objects with strong ice absorption in the AKARI slitless spectroscopic survey 尾中敬(明星大学)
			14:48 P125a Investigation of roles of the UV radiation on the chemistry around protostars in the Ophiuchus region 谷口琴美(国立天文台)
			15:00 P126b ALMA ACA サーベイで探る Corona Australis 領域の星形成(3) 西岡丈翔(名古屋大学)
			15:12 質疑応答(10分)

9月15日(水) 午前・F会場		9月15日(水) 午後・F会場	
09:30	P127a The relation of accretion to protostellar multiplicity and chemistry with Nobeyama Nadia M. Murillo (RIKEN)	13:00	P137a 超大規模並列計算に向けた、テレグラフ方程式を用いた重力ソルバーの開発 前田龍之介(名古屋大学)
09:42	P128a ガス雲の降着による連星の種の成長 森井健翔(茨城大学)	13:12	P138a ALMA アーカイブデータを用いた太陽系近傍星形成領域における原始星アウトフローの統計的研究(1) 山崎駿(九州大学)
09:54	P129a 磁場の向きと回転軸が非平行な場合の連星形成環境の解明 佐伯優(九州大学)	13:24	P139a ALMA アーカイブデータを用いた太陽系近傍星形成領域における原始星アウトフローの統計的研究(2): 中間質量原始星 DK Cha のケーススタディ 原田直人(九州大学)
10:06	P130a OMC-2/FIR 6b からの高速回転ジェット の駆動 松下祐子(国立天文台)	13:36	P140a 大マゼラン雲 N113 領域における大質量星形成: 潮汐相互作用によるトリガー 西岡丈翔(名古屋大学)
10:18	P131a ALMA View of Molecular Outflow in Elias 29 雑賀恵理(東京大学)	13:48	P141a ALMA による小マゼラン雲 N66 領域の大質量原始星に付随する分子ガス観測 大川将勢(大阪府立大学)
10:30	P132a Misaligned rotations of the envelope, outflow, and disks in the triplet protostellar system of VLA 1623-2417 大橋聡史(理化学研究所)	14:00	P142a ALMA による重力不安定な円盤を伴う大質量原始星からの分子ガスアウトフロー観測 元木業人(山口大学)
10:42	P133a Class 0 原始星 CB68 周囲のインフォールエンベロープ 城戸未宇(鹿児島大学)	14:12	P143a 低金属度環境における大質量星周円盤の分裂 松木場亮喜(京都大学)
10:54	P134a Chemical and Physical Characterization of the Isolated Source CB68 大屋瑤子(東京大学)	14:24	P144a 有限金属量のもと急速降着で成長する原始星の進化 櫻井祐也(Kavli IPMU)
11:06	P135a B335 における原始星近傍 10 au スケールの化学組成分布と速度構造 大小田結貴(東京大学)	14:36	P145a 3次元磁気流体計算に基づくダスト粒子の軌道計算と統計的性質の解明 古賀駿大(九州大学)
11:18	P136a 分子雲コア収縮時における原始惑星系円盤の形成とダストの合体成長 今枝佑輔(法政大学)	14:48	P146b 衝撃波圧縮の継続時間を考慮した分子雲における誘発的星形成シミュレーション 安部大晟(名古屋大学)
11:30	質疑応答(10分)	14:48	P147b 山口干渉計による赤外線暗黒星雲に埋もれた原始星アウトフロー天体の探査観測 北口慶太(山口大学)
		15:00	質疑応答(10分)

P2. 星・惑星形成(原始惑星系円盤)

9月13日(月)午前・F会場		9月13日(月)午後・F会場	
09:30	P201a Structure of Molecular Cloud Circumstellar Disks Bo Zhang (Saga University)	13:00	P211a 冷却効果による原始惑星系円盤上のガス渦散逸 小野智弘(東京工業大学)
09:42	P202a 非軸対称降着が原始惑星系円盤の回転速度分布に及ぼす磁気張力加速 海野真輝(大阪大学)	13:12	P212a Improved mass predictions of the potential planets in gaps of ALMA disks Shijie Wang (The University of Tokyo)
09:54	P203a 原始星アウトフローによって引き起こされる原始惑星系円盤への「降灰」 塚本裕介(鹿児島大学)	13:24	P213a 熱波不安定性による原始惑星系円盤のミリ波リング・ギャップ形成 植田高啓(国立天文台)
10:06	P204a Spitzer/IRACによるSh 2-208の中間赤外線観測:低金属量環境下における原始惑星系円盤の進化 安井千香子(国立天文台)	13:36	P214a 移動する惑星が作るダストリング構造について 金川和弘(茨城大学)
10:18	P205a 原始惑星系円盤光蒸発の輻射流体計算:円盤ダスト-ガス質量比依存性 駒木彩乃(東京大学)	13:48	P215a ダスト成長が駆動する原始惑星系円盤の不安定性の数値シミュレーション 富永遼佑(理化学研究所)
10:30	P206a 原始惑星系円盤光蒸発の再考 仲谷峻平(理化学研究所)	14:00	P216a 磁気流体力学的に降着する原始惑星系円盤のスノーラインの進化:ダスト成長の影響 近藤克(東京工業大学)
10:42	P207a 原始惑星系円盤におけるHC ¹⁸ O ⁺ 輝線の検出 古家健次(国立天文台)	14:12	P217a 磁場が降着を駆動する周惑星円盤のモデル化 森昇志(東北大学)
10:54	P208a 原始惑星系円盤における一酸化炭素同位体組成の測定可能性 吉田有宏(総合研究大学院大学/国立天文台)	14:24	P218b 分子雲コア初期質量の原始惑星系円盤サイズへの影響 高石大輔(鹿児島大学)
11:06	P209a へびつかい座円盤天体の超解像イメージング:II円盤サブストラクチャー 川邊良平(国立天文台)	14:24	P219b H ₂ O スノーライン以遠に影構造を持つ原始惑星系円盤の詳細化学構造 野津翔太(理化学研究所)
11:18	P210a Multiple Rings and Asymmetric Structures in SR 21 Disk Yi Yang (The University of Tokyo/NAOJ)	14:24	P220b ダスト層重力不安定による微惑星形成時の雷発生 中本泰史(東京工業大学)
11:30	質疑応答(10分)		P221c 雷放電後の高温領域がコンドリュールを形成可能であるための条件 金子寛明(東京工業大学)
			P222c 磁場強度と原始惑星系円盤、アウトフローとの関係 小林雄大(鹿児島大学)

P3. 星・惑星形成 (惑星系)

14:36	P223c ダストアグリゲイト間衝突破壊に関する 破片と質量比の関係性 長谷川幸彦 (東京大学)	9月14日 (火) 午前・G会場
	質疑応答 (10分)	09:30 P301a 磁極から探る惑星磁場の動力学 中道晶香 (京都産業大学)
		09:42 P302a ベスタ様小惑星への巨大衝突の数値計 算と金属コア・表面地殻の混合による メシデライトの形成 杉浦圭祐 (東京工業大学)
		09:54 P303a 自転する天体への巨大衝突に伴う角運 動量輸送と自転軸傾斜角変動 黒崎健二 (名古屋大学)
		10:06 P304a 木曾 Tomo-e Gozen を用いた微小地球 接近小惑星の高時間分解撮像観測 紅山仁 (東京大学)
		10:18 P305a ^{13}C isotopic ratios of HC_3N on Titan measured with ALMA 飯野孝浩 (東京大学)
		10:30 P306a サブミリ波帯大気放射モデルを利用した ALMA 火星 CO データの解析 山田崇貴 (情報通信研究機構)
		10:42 P307b 火星の偏光観測 川上碧 (兵庫県立大学)
		10:42 P308b すばる望遠鏡HSCの観測画像・カタログ データベースを活用した既知太陽系小 天体探査 大坪貴文 (国立天文台)
		10:42 P309b 太陽系外惑星系からのX線放射に関する Chandra 衛星を用いた研究 梅谷翼 (東京都立大学)
	10:54 質疑応答 (10分)	

9月14日(火) 午後・G会場		9月15日(水) 午前・G会場	
13:00	P310a 階層的三体系の不安定性時間スケールの軌道要素依存 林利憲(東京大学)	09:30	P320a Starspot mapping with parallel tempering for TESS data of M-type flare stars. II. The variation of light curves in two years 幾田佳(京都大学)
13:12	P311a OGLE-2014-BLG-0221(0284)/MOA-2014-BLG-069: 晩期型星またはコンパクト天体周りの巨大ガス惑星 桐川凜太郎(大阪大学)	09:42	P321a 閃光の惑星系: デブリ円盤からのスーパーフレア中間赤外エコーの観測可能性 有松亘(京都大学)
13:24	P312a 重力マイクロレンズイベント MOA-2019-BLG-273/OGLE-2019-BLG-0825/KMT-2019-BLG-1389 の解析 佐藤佑樹(大阪大学)	09:54	P322a 太陽・太陽型星の XUV 放射モデリング: 光蒸発理論の発展に向けて 庄田宗人(国立天文台)
13:36	P313a PRIME 望遠鏡での近赤外線マイクロレンズサーベイ観測による惑星の検出 近藤依央菜(大阪大学)	10:06	P323a ホットジュピターの大気散逸における水素分子励起を通じた加熱の影響 三谷啓人(東京大学)
13:48	P314a 離心率の大きなホットジュピターを持つ若い星の高コントラスト撮像 清水利憲(東京大学)	10:18	P324a M型星周りの惑星サーベイ: すばる戦略枠観測 IRD-SSP におけるサンプルの特性調査 三井康裕(東京大学)
14:00	P315a 軌道歳差観測による WASP-33b の惑星軌道傾斜角測定 渡辺紀治(東京大学)	10:30	P325a M3型星まわりのサブネプチューン TOI1696.01 の発見確認 森万由子(東京大学)
14:12	P316a 木星型惑星の成長と惑星散乱 長沢真樹子(久留米大学)	10:42	P326a 2:1 周期比ペアを含む3つの惑星がトランジットする M 型星の発見 福井暁彦(東京大学)
14:24	P317a ダストから惑星まで統一シミュレーション: 巨大ガス惑星形成と軌道の分布 小林浩(名古屋大学)	10:54	P327a <i>Spitzer</i> and <i>CHEOPS</i> follow-up of the nearby multi-planet system GJ 9827 John Livingston (The University of Tokyo)
14:36	P318a 原始惑星 PDS70b, c の $H\beta$ 測光: 減光強度への示唆 青山雄彦(清華大学)	11:06	P328a 原始大気中の水生成を考慮した種族合成モデルによる惑星の獲得水量の予測 木村真博(東京大学)
14:48	P319a 太陽系外惑星・褐色矮星の高分散キャラクター化のための自動微分可能なスペクトルモデル 河原創(東京大学)	11:18	P329a 恒星高エネルギー粒子のフルエンスを考慮したハビタブルゾーンの再評価 山敷庸亮(京都大学)
15:00	質疑応答(10分)	11:30	質疑応答(10分)

Q. 星間現象

9月14日(火) 午前・I会場		9月14日(火) 午後・I会場	
09:30	Q01a X線衛星 <i>Chandra</i> による SN1006 北西部衝撃波の空間分解スペクトルの解析 市橋正裕(東京大学)	13:00	Q12a 重力崩壊型超新星残骸 G350.1-0.3 の X線観測で迫る爆発の非対称効果 土岡智也(立教大学)
09:42	Q02a X線天文衛星「すざく」を用いた超新星残骸 G352.7-0.1 におけるプラズマの空間構造の調査 藤重朝妃(奈良女子大学)	13:12	Q13a 超新星残骸 RX J0852.0-4622 におけるガンマ線発生機構:陽子起源・電子起源ガンマ線の観測的分離と定量 有賀麻貴(名古屋大学)
09:54	Q03a 高密度な白色矮星を起源とする Ia 型超新星残骸 3C 397 の重元素分布 大城勇憲(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	13:24	Q14a すざくによる PeVatron 候補天体 G106.3+2.7 の観測 藤田裕(東京都立大学)
10:06	Q04a マグネターの親星推定のための RCW103 の X線精密分光解析 成田拓仁(京都大学)	13:36	Q15a HESS J1848-018/W43 領域の多波長観測 辻直美(理化学研究所)
10:18	Q05a XMM-Newton 衛星による超新星残骸 1E 0102.2-7219 の高統計X線スペクトル解析 天野雄輝(京都大学)	13:48	Q16a Observations of the unidentified source HESS J1809-193 at TeV energies with the MAGIC telescopes using the Very Large Zenith Angle technique Marcel C. Strzys (The University of Tokyo)
10:30	Q06a 超新星残骸 G296.1-0.5からのOVII He α の高い禁制/共鳴線強度比の発見 田中優貴子(京都大学)	14:00	Q17a 超新星残骸が加速する粒子の最高エネルギーとその環境依存性の観測的研究 鈴木寛大(甲南大学)
10:42	Q07a 再結合優勢プラズマを持つ超新星残骸 W49B の空間構造の調査 鈴木那梨(奈良女子大学)	14:12	Q18a すざくを用いた銀河系高温ガスハローの観測 上田将暉(東京理科大学)
10:54	Q08a ALMA による超新星残骸 W49B の観測:宇宙線加速と過電離プラズマの起源 佐野栄俊(国立天文台)	14:24	Q19a Milky Way Hot Gaseous Halo Revealed by Oxygen Absorption Lines of the Galactic X-ray Sources Yu Zhou (JAXA/ISAS)
11:06	Q09a 低エネルギー宇宙線陽子は超新星残骸プラズマの過電離状態を説明するか? 澤田真理(理化学研究所)	14:36	Q20a フェルミバブル周辺における電離非平衡プラズマの発見 山本真理乃(早稲田大学)
11:18	Q10b プラズマ粒子シミュレーションにおける運動方程式の厳密解に基づく粒子積分法: I. 非相対論的な場合 加藤恒彦(国立天文台)	14:48	Q21a PeV ガンマ線で探る天の川銀河ハロー内の宇宙線とその役割 井上進(文教大学/理化学研究所)
11:18	Q11b マイクロクエーサー SS433 のジェットと分子雲 N4 との相互作用の詳細解析 山本宏昭(名古屋大学)	15:00	質疑応答(10分)
11:30	質疑応答(10分)		

Q. 星間現象

9月15日(水) 午前・I会場		9月15日(水) 午後・I会場	
09:30	Q22a 急冷窒素含有炭素質物質の宇宙環境曝露実験 - 帰還試料の初期分析報告 遠藤いずみ(東京大学)	13:00	Q32a すざく衛星による銀河面拡散 X 線放射のスペクトル解析 山本久美子(奈良女子大学)
09:42	Q23a 放射型分光計 SUMIRE を用いたメタノール分子同位体種のマイクロ波分光 小山貴裕(理化学研究所)	13:12	Q33a 銀河系中心領域に発見された特異分子雲 "Tadpole" の空間速度構造 金子美由起(慶應義塾大学)
09:54	Q24a 放射型分光装置 SUMIRE を用いたメタノール重水素置換体 CH ₂ DOH の測定と観測データ解釈への影響 大野有紀(東京理科大学/理化学研究所)	13:24	Q34a 爆発的星形成銀河 NGC253 中心部で発見された高速度コンパクト雲 西山苑実(慶應義塾大学)
10:06	Q25a Tracing the methanol deuteration towards Perseus low-mass protostars Shaoshan Zeng (RIKEN)	13:36	Q35a 中高銀緯広域における中間速度雲の重元素量空間分布 (2) 早川貴敬(名古屋大学)
10:18	Q26a The NANTEN Galactic Plane Survey I : (Overview) 立原研悟(名古屋大学)	13:48	Q36a 星形成史の解明に向けた磁場・宇宙線が駆動する銀河風についての理論研究2 霜田治朗(名古屋大学)
10:30	Q27a NANTEN 銀河面サーベイデータを利用した星間水素の精密定量 堤大陸(名古屋大学)	14:00	質疑応答(10分)
10:42	Q28a 機械学習アルゴリズムを用いた Near-Far 問題の解法 (2) 藤田真司(大阪府立大学)		
10:54	Q29a 大マゼラン雲における大質量星形成領域に対する機械学習を用いた観測的研究 上田翔汰(大阪府立大学)		
11:06	Q30a Sub-kpc scale gas density histogram of the Galactic molecular gas : a new statistical method to characterise the galactic-scale gas density structure 松坂怜(鹿児島大学)		
11:18	Q31a 銀河系中心領域における磁気活動の数値解析 柿内健佑(名古屋大学)		
11:30	質疑応答(10分)		

R. 銀河

9月15日(水) 午前・E会場		9月15日(水) 午後・E会場			
09:30	R01a	ALMA [CII] 輝線・遠赤外線連続波観測とNRO 45m CO(5-4) 輝線観測で探る $z \approx 5$ の超臨界降着クエーサー J0131-0321 の母銀河の性質 山下祐依(東京大学)	13:00	R13a	大マゼラン雲における銀河間潮汐相互作用による大質量星形成 柘植紀節(Friedrich-Alexander University)
09:42	R02a	スターバースト銀河 NGC 253 におけるラジカル分子の ALMA 観測 原田ななせ(国立天文台)	13:12	R14a	すばる望遠鏡 / Hyper Suprime-Cam 用狭帯域フィルター NB515 で探るアンドロメダ銀河恒星ハローの構造 小上樹(法政大学)
09:54	R03a	NGC 253 中心部における回転/非回転ガスの分離 榎谷玲依(慶應義塾大学)	13:24	R15a	超高速星を用いた銀河系ダークマターハローの形状推定 服部公平(統計数理研究所)
10:06	R04a	NGC 253 中心部の特異構造 "western-superbubble" の観測的研究 小西諒太郎(大阪府立大学)	13:36	R16a	銀河面からの軟 X 線背景放射 (7) 安福千貴(名古屋大学)
10:18	R05a	Atacama Compact Array による渦巻銀河 M33 の ^{12}CO , ^{13}CO $J=2-1$ 広域観測 (3): 分子雲のサイズ-線幅関係 村岡和幸(大阪府立大学)	13:48	R17a	Instability analysis for spiral arms of local galaxies 井上茂樹(筑波大学/国立天文台)
10:30	R06a	棒渦巻銀河 Maffei 2 における $^{12}\text{CO}(J=1-0)$, $^{13}\text{CO}(J=1-0)$ を用いた分子ガスの2成分解析 矢島義之(北海道大学)	14:00	R18a	銀河渦状腕中の星のエピサイクル位相同期 IV 吉田雄城(東京大学)
10:42	R07a	NRO レガシープロジェクト COMING (30): 近傍銀河における分子ガスの速度分散と星形成効率の関係 清水一揮(北海道大学)	14:12	R19a	介在銀河による偏波解消の数値シミュレーション II 大前陸人(総合研究大学院大学)
10:54	R08a	棒渦巻銀河 NGC 1300 における巨大分子雲の $\text{CO}(2-1)/\text{CO}(1-0)$ 比 前田郁弥(東京大学)	14:24	R20a	3次元磁気流体数値実験に基づく渦状銀河電波放射領域の同定 田嶋裕太(総合研究大学院大学)
11:06	R09a	Molecular gas conditions in the central region of NGC 1365 Fumi Egusa (The University of Tokyo)	14:36	R21a	空間解像度差のあるデータセットを用いた深層学習による銀河形状分類精度 本間裕也(新潟大学)
11:18	R10a	GMC における星形成と銀河進化: M51 山田麟(名古屋大学)	14:48	R22a	Astrometry of the Nuclear Star Cluster using ALMA Masato Tsuboi (ISAS/JAXA)
11:30	R11a	銀河スケールの構造と分子雲スケールの物理的・化学的性質の関係 (1): NGC 613 銀河中心領域 金子紘之(上越教育大学/国立天文台)		R23c	衝突系における制限付き 1PN 方程式の導出とその評価 立川崇之(高知工業高等専門学校)
11:42	R12b	Galactic Center IRS21, Falling Hyper Compact HII Regions? Masato Tsuboi (ISAS/JAXA)	15:00		質疑応答 (10分)
11:54		質疑応答 (10分)			

S. 活動銀河核

S. 活動銀河核

9月13日(月) 午前・C会場		11:18	S12b	Growing supermassive black holes through secular processes: a machine learning approach to identifying substructures in quasar host galaxies with HSC Tilman Hartwig (The University of Tokyo)	
09:30	S01a	EHTC 公開データ再解析によって見えてきた M87 中心核 三好真(国立天文台)			
09:42	S02a	厳密な時間依存型の多波長・一般相対論的輻射輸送計算で探るブラックホールシャドウおよびスペクトルの時間変動 川島朋尚(東京大学)	11:30	S13c	せいめい望遠鏡 KOOLS-IFU 可視面分光観測で探る NGC 7674 の AGN 活動 鳥羽儀樹(京都大学)
09:54	S03a	Broadband Multi-wavelength Properties of M87 during the 2017 Event Horizon Telescope Campaign Daniel Mazin (The University of Tokyo)	11:42	S14b	すばる HSC サーベイで探る遠方電波銀河の性質 山本優太(愛媛大学)
10:06	S04a	巨大ブラックホール降着流の輻射磁気流体シミュレーション: 熱不安定性による軟 X 線放射領域の振動 五十嵐太一(千葉大学)			質疑応答(10分)
10:18	S05a	モンテカルロ X 線放射輸送コード MONACO の光電離モデル 小高裕和(東京大学)	9月13日(月) 午後・C会場		
10:30	S06a	モンテカルロ X 線放射輸送コード MONACO による AGN Warm Absorber のスペクトル解析 谷本敦(東京大学)	13:00	S15a	Study on the outflow impact of SMBH seed at high-z through radiation hydrodynamic (RHD) simulations Ignacio Botella Lasaga (Kyoto University)
10:42	S07a	Circinus 銀河中心核の空間的に広がった鉄輝線放射領域の詳細解析(2) 澤上拳明(大阪大学)	13:12	S16a	ダスト昇華半径周辺における輻射駆動アウトフロー 工藤祐己(鹿児島大学)
10:54	S08a	Fe-K α 輝線反響マッピング法を用いた NGC 3516 活動銀河核構造の研究(2) 峯田大靖(大阪大学)	13:24	S17a	NGC1068 の ALMA 高空間分解能観測: 逆回転する高密度分子トラスの発見 今西昌俊(国立天文台)
11:06	S09a	銀河中心核領域での大質量ブラックホールの動き回りと、ブラックホール質量とバルジ質量の相関 井上一(宇宙航空研究開発機構)	13:36	S18a	電波銀河 NGC 1052 における SO 吸収線による分子ガストラスの温度計測 亀野誠二(国立天文台 / Joint ALMA Observatory)
11:18	S10b	一般相対論的重力場における 3次元粒子加速・ニュートリノ輻射輸送コード「 ν -RAIKOU」の開発 川島朋尚(東京大学)	13:48	S19a	WISE データの変動カラーによる AGN ダスト減光量の新推定法の提案 水越翔一郎(東京大学)
11:18	S11b	狭輝線セイファート 1 型銀河の X 線スペクトルの理論的解釈 川中宣太(京都大学)	14:00	S20a	NGC 1275 核周円盤における超新星爆発起源の電波放射の発見 永井洋(国立天文台)
			14:12	S21a	将来計画における X 線超高速アウトフローのモニター観測の必要性と可能性 水本岬希(京都大学)
			14:24	S22a	AGN アウトフローに対する MCMC 法を用いた吸収線モデルフィットの適用 三澤透(信州大学)

14:36	S23a	遠赤外線で明るい活動銀河核における狭輝線ガスの運動速度 繁澤政樹(関西学院大学)	9月14日(火)午後・C会場
14:48	S24a	Kiloparsec-scale Neutral Atomic Carbon Outflow in the Nearby Type-2 Seyfert Galaxy NGC 1068: An Evidence for the Negative AGN Feedback 齊藤俊貴(日本大学/国立天文台)	13:00 S33a 最近傍の radio loud QSO, 3C273 の高ダイナミックレンジイメージング 小麦真也(工学院大学)
15:00		質疑応答(10分)	13:12 S34a <i>Swift</i> /BAT X線サーベイの最高光度活動銀河 H1821+643で見られる爆発的星生成とブラックホールへの質量降着の起源 福地輝(東北大学)
9月14日(火)午前・C会場			13:24 S35a Systematic search of fading AGN in the local universe at $z < 0.4$ Janek PFLUGRADT (Tohoku University)
09:30	S25a	M87 宇宙ジェット加速領域: GRMHD アウトフローにおける角運動量輸送 高橋真聡(愛知教育大学)	13:36 S36a How does the polar dust affect the correlation between dust covering factor and Eddington ratio in type 1 quasars selected from the SDSS DR16? 鳥羽儀樹(京都大学)
09:42	S26a	<i>NuSTAR</i> による Centaurus A の硬 X 線時間変動の調査 岩田季也(東京大学)	13:48 S37a Subaru HSC COSMOS+SXDS 時間軸データを用いた光度変動 AGN の探査 小久保充(プリンストン大学)
09:54	S27a	電波銀河 M87 の X 線短時間変動 今澤遼(広島大学)	14:00 S38a Searching for obscured AGNs in deep and wide multi-wavelength imaging datasets Bovornpratach Vijarnwannaluk (Tohoku University)
10:06	S28a	GeV-loud 電波銀河の高エネルギー放射の系統的性質と種族研究 深沢泰司(広島大学)	14:12 S39a MAGIC 望遠鏡による高エネルギーニュートリノ対応天体観測 Yoo Seokhyun(京都大学)
10:18	S29a	電波銀河のガンマ線 loudness と X 線スペクトルの関係 榎木大修(広島大学)	14:24 質疑応答(10分)
10:30	S30a	低光度AGNのTeVガンマ線光度とその時間変動 木坂将大(広島大学)	
10:42	S31a	かなた望遠鏡によるブレーザー BL Lacertae の増光期における可視・近赤外線同時連続偏光撮像観測 間夏子(広島大学)	
10:54	S32a	ジェット・ガス雲衝突で誘発された 3C84 電波ローブの FR II/FR I 遷移 紀基樹(工学院大学)	
11:06		質疑応答(10分)	

T. 銀河団

U. 宇宙論

9月13日(月) 午後・I会場		9月15日(水) 午前・C会場	
13:00	T01a 銀河系前景放射と銀河団外縁部の観測への影響 松下恭子(東京理科大学)	09:30	U01a Grid-based calculation for perturbation theory of large-scale structure in redshift space 樽家篤史(京都大学)
13:12	T02a ひとみ衛星とすざく衛星を統合したペルセウス銀河団からの暗黒物質由来の輝線探索 II 福一誠(立教大学)	09:42	U02a Dark Quest II: パワースペクトル、ハロー質量関数エミュレータの構築 田中賢(京都大学)
13:24	T03a 初期の衝突銀河団 CIZA J1358.9-4750 における衝撃波の X 線および SZ 信号の比較 大宮悠希(名古屋大学)	09:54	U03a Dark Quest II: 距離依存した成長率を持つ宇宙モデルにおける銀河バイアス 西道啓博(京都大学)
13:36	T04a 大小様々な銀河団の冷却コア内のガス揺らぎの系統解析 上田周太郎(ASIAA)	10:06	U04a すばる HSC と SDSS データの銀河弱重力レンズとクラスタリングの小スケール信号を用いた宇宙論統合解析 宮武広直(名古屋大学)
13:48	T05a 銀河団磁場との相互作用によって折れ曲がるジェット 大村匠(東京大学)	10:18	U05a すばる HSC と SDSS データの銀河弱重力レンズとクラスタリングの大スケール信号を用いた宇宙論統合解析 杉山素直(東京大学 Kavli IPMU)
14:00	T06a 銀河団電波ハローの数値モデルに基づいた Faraday Spectrum の解析 菅原充祥(山形大学)	10:30	U06a すばるPFSとHSCによる大規模構造探索: 分光ファイバー割り当てに伴う系統誤差の検討 真喜屋龍(台湾中央研究院)
14:12	T07a 銀河団の構造形成史から示唆される巨大電波ハローの駆動条件 西脇公祐(東京大学)	10:42	U07a HSC と BOSS のデータを用いた銀河分布と弱重力レンズ効果の二点相関による現象論的な修正重力の制限 大河内雄志(名古屋大学)
14:24	質疑応答(10分)	10:54	U08a 21-cm 線観測による BAO 解析のための理論的枠組みの構築 安藤梨花(名古屋大学)
		11:06	U09a 21cm 線強度マップの直接画像解析による暗黒物質探査 村上広椰(名古屋大学)
		11:18	U10b 銀河形成シミュレーションを用いた銀河の特異速度の推定法の開発 阿部祐大(弘前大学)
			U11c Constraints on primordial magnetic fields with energy density 山崎大(茨城大学)
		11:30	質疑応答(10分)

V1. 観測機器 (電波)

9月15日(水) 午後・C会場		9月14日(火) 午後・D会場	
13:00	U12a 銀河スピントロログの作成と銀河分布による双極子異方性の補正 福本英也(放送大学)	13:00	V101a Update on ALMA Operations and Development Program – Autumn 2021 Alvaro Gonzalez (NAOJ)
13:12	U13a 超低輝度矮小銀河を用いた Fuzzy Dark Matter 理論への制限 林航平(一関工業高等専門学校)	13:12	V102a Progress in Device Fabrication at Microfabrication Cleanroom in NAOJ Wenlei Shan (NAOJ)
13:24	U14a 宇宙マイクロ波背景放射による WIMP-PBH 混合暗黒物質モデルへの制限 田代寛之(名古屋大学)	13:24	V103a RF 211-373 GHz 広帯域 IF SIS ミキサの試作 小嶋崇文(国立天文台)
13:36	U15a 熱的制動放射による宇宙初期でのダークマターハロー形成への制限 箕田鉄兵(名古屋大学)	13:36	V104a 超伝導体を用いた 4-8GHz 帯 90 度ハイブリッドカプラの試作 有馬海里(電気通信大学)
13:48	U16a 初代星が再電離に与える影響と将来 CMB 実験での観測可能性 坂本陽菜(名古屋大学)	13:48	V105a アップ/ダウンコンバート Mixer を用いた Isolator のための原理確認実験 増井翔(大阪府立大学/国立天文台)
14:00	U17a Cosmology with clusters from component separation to cosmological tension 谷村英樹(Institut d'Astrophysique spatiale, France)	14:00	V106a ファブリペロー開放型共振器法を用いたミリ波帯誘電損失の評価 坂井了(国立天文台)
14:12	U18a 宇宙マイクロ波背景放射の銀河団散乱による宇宙初期揺らぎの推定 角谷健斗(名古屋大学)	14:12	V107a The Next Generation Very Large Array – Fall 2021 伊王野大介(国立天文台)
14:24	U19a インフレーション起源 Bモード検出に向けた Bモード分離手法の開発 茅根裕司(東京大学)	14:24	V108a 野辺山 45m 鏡 7 ビーム 3 帯域両偏波受信機の開発 V: 受信機開発の進捗 II 長谷川豊(大阪府立大学)
14:36	U20a GW170817 のスカラーモード再構成によって行うスカラーテンソル理論のモデルに依存しない検証 具島侑也(福岡大学)	14:36	V109a 野辺山 45m 鏡 7 ビーム 3 帯域両偏波受信機の開発 VI: 誘電体レンズを用いたビーム伝送系の設計及び評価 山崎康正(大阪府立大学)
14:48	U21a 電子のラブの寿命と陽子のラブの寿命と宇宙の大きさ 小堀しづ	14:48	V110b 野辺山 45m 鏡 7 ビーム 3 帯域両偏波受信機の開発 VII: 広帯域直交偏波分離器の設計と評価 米山翔(大阪府立大学)
15:00	質疑応答(10分)	14:48	V111b 野辺山 45m 鏡 7 ビーム 3 帯域両偏波受信機の開発 VIII: 導波管型 Triplexer の設計および評価 川下紗奈(大阪府立大学)
		15:00	質疑応答(10分)

V1. 観測機器

9月15日(水) 午前・D会場		11:30	V123b 多色サブミリ波カメラ用超広帯域準光学バンドパスフィルターの開発 宇野慎介(東京大学)
09:30	V112a CMB偏光観測衛星 LiteBIRD計画の進展 堂谷忠靖(宇宙航空研究開発機構)	11:30	V124b An Iterative Reconstruction Algorithm for Faraday Tomography Suchetha Cooray (Nagoya University)
09:42	V113a CMB偏光観測衛星 LiteBIRD 低周波望遠鏡の熱構造歪みによる光学性能への影響 松田フレドリック(宇宙航空研究開発機構)	11:42	質疑応答(10分)
09:54	V114a LiteBIRD 低周波望遠鏡の広視野アンテナパターン測定の高精度化 高倉隼人(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	9月15日(水) 午後・D会場	
10:06	V115a LiteBIRD 低周波望遠鏡のホログラフィー近傍界アンテナパターン測定法の開発 中野遼(東京大学/宇宙航空研究開発機構)	13:00	V125a Simons Observatory, Large Aperture Telescope のための較正光源の開発 金子大輔(高エネルギー加速器研究機構)
10:18	V116a 200 GHz帯直列接合型 SIS素子の開発: 伝送線路構造と雑音特性の関係 中島拓(名古屋大学)	13:12	V126a Simons Array 実験における惑星観測による検出器評価 山田恭平(東京大学)
10:30	V117a 次期国際火星探査 Mars Ice Mapper 計画のサブペイロードを見据えたテラヘルツヘテロダイン分光装置 THSS の検討 前澤裕之(大阪府立大学)	13:24	V127a Simons Array 実験における較正光源を用いた検出器性能評価試験 高取沙悠理(総合研究大学院大学)
10:42	V118a FPGA のみで実現する完全デジタルな電波分光計(ARDS): 傾斜型 ADC シミュレータの開発 松英裕大(名古屋大学)	13:36	V128a 狭帯域 RF 発振器を用いた Simons Array 望遠鏡の検出器の特性評価手法の研究 廣瀬開陽(横浜国立大学)
10:54	V119a ROS 2 を用いた電波望遠鏡制御のための分散コンピューティングシステムの負荷試験 西川薫(名古屋大学)	13:48	V129a 次世代マイクロ波放射計兼広帯域 VLBI 受信システムの開発(I) 氏原秀樹(京都大学)
	V120c 山口 32m電波望遠鏡の駆動系に生じたガタと対策 藤沢健太(山口大学)	14:00	V130a 水沢 10m 電波望遠鏡の低周波観測に向けたシステム向上 亀谷收(国立天文台)
11:06	V121a 超伝導検出器焦点面に適した低熱収縮シリコンアルミ合金の極低温特性評価 竹腰達哉(北見工業大学)	14:12	V131a SKA プロジェクトへの参加計画 4 小林秀行(国立天文台)
11:18	V122a 多色サブミリ波カメラ用超広帯域反射防止技術の開発 長沼桐葉(電気通信大学)	14:24	V132b SKA1 LOW に向けた VLBI 観測計画 小林秀行(国立天文台)
		14:24	V133b 茨城観測局電波望遠鏡搭載広帯域 CX 帯円偏波分離器の開発 知念翼(大阪府立大学)
		14:24	V134b 高萩/日立 32m 電波望遠鏡の整備状況 2021B 米倉覚則(茨城大学)
		14:36	質疑応答(10分)

V2. 観測機器 (光赤外・重力波・その他)

9月13日(月) 午前・E会場		11:18	V213b 極低温下における自由曲面鏡の表面形状測定に向けた CGH 干渉計の開発 近藤翼(名古屋大学)
09:30	V201a SUNRISE-3 大気球太陽観測実験: 偏光分光装置 SCIP 光学ユニット熱真空試験 勝川行雄(国立天文台)	11:30	質疑応答(10分)
09:42 V202a Solar-C (EUVST) における地上支援システムに関する検討 飯田佑輔(新潟大学)		9月13日(月) 午後・E会場	
09:54	V203a JASMINE 計画の概要と全体状況 郷田直輝(国立天文台)	13:00	V214a TMT 計画 - 進捗報告 臼田知史(国立天文台)
10:06	V204a JASMINE における検出器変更可能性に基づく仕様、観測データの再検討 矢野太平(国立天文台)	13:12	V215a TMT 広視野可視撮像分光器 WFOS 用面分光ユニットの概念検討 2 尾崎忍夫(国立天文台)
10:18	V205a JASMINE アストロメトリ解析ソフトウェアの開発 大宮正士(アストロバイオロジーセンター)	13:24	V216a ULTIMATE-START: すばる望遠鏡レーザーモグラフィー補償光学の開発 (V) 寺尾航暉(東北大学)
10:30	V206a 宇宙赤外線背景放射観測ロケット実験 CIBER-2 の打上げ報告 松浦周二(関西学院大学)	13:36	V217a 広視野サーベイ観測 WISHES: サーベイの概要 大栗真宗(東京大学)
10:42	V207a 宇宙赤外線背景放射観測ロケット実験 CIBER-2: 打ち上げ前最終感度較正 橋本遼(関西学院大学)	13:48	V218a 広視野サーベイ観測 WISHES: データ解析 古澤久徳(国立天文台)
10:54	V208a SPICA(次世代赤外線天文衛星): 将来に向けた成果の継承 山村一誠(宇宙航空研究開発機構)	14:00	V219a SuMIRe-PFS[22]: プロジェクト概要と装置開発進捗状況まとめ 2021 年秋季 田村直之(東京大学 Kavli IPMU)
11:06	V209b 宇宙赤外線背景放射観測ロケット実験 CIBER-2: 感度較正における誤差の評価 野田千馬(関西学院大学)	14:12	V220a SuMIRe-PFS[26]: PFS による共同利用観測の枠組み 田中賢幸(国立天文台)
11:06	V210b 可視近赤外宇宙背景放射観測装置 EXZIT: 金属鏡表面粗さの評価 橋本遼(関西学院大学)	14:24	V221b SuMIRe-PFS[23]: 赤外線検出器 HAWAII-4RG の persistence 特性評価 濱野哲史(国立天文台)
11:06	V211b Solar-C (EUVST) に搭載する超高精度太陽センサ「UFSS」: バイアス誤差の低減とバイアス誤差決定精度向上に向けた検討状況 鄭祥子(宇宙航空研究開発機構)		V222c SuMIRe-PFS[24]: PFS-HSC 試験観測 (投影写像・姿勢検出について) 川野元聡(国立天文台)
11:18	V212b 将来衛星搭載に向けた高感度赤外線検出システムの低雑音・低発熱化 海老原大路(東京工業大学)	14:24	V223b SuMIRe-PFS[25]: PFS Cable B における Focal Ratio Degradation の測定 越田進太郎(国立天文台)
		14:24	V224b SuMIRe-PFS[27]: Optimal tiling algorithm for the PFS open-use programs Wanqiu He (NAOJ)

V2. 観測機器

14:36	V225b SuMIRe-PFS[28]: 夜間試験観測へ向けたデータ解析環境の準備状況 矢部清人(東京大学 Kavli IPMU)	9月14日(火) 午後・E会場
14:36	V226b TMT 科学運用の検討 青木和光(国立天文台)	13:00 V236a 大型低温重力波望遠鏡 KAGRA の現状 押野翔一(東京大学)
14:36	V227b JVO portal 開発状況: すばる望遠鏡 Suprime-Cam 処理済みデータの配信と Gaia EDR3 可視化システムの開発 白崎裕治(国立天文台)	13:12 V237a 光・赤外大学間連携観測による STARLINK Visorsatの多波長の等級測定 堀内貴史(国立天文台)
14:48	質疑応答(10分)	13:24 V238a 岡山 188cm 反射望遠鏡 / HIDES-F の 全自動データリダクションツールの開発・ 運用状況について 原川紘季(国立天文台)
9月14日(火) 午前・E会場		13:36 V239a ハーフトーン手法を用いた高コントラスト観 測のためのダークホール制御技術の開発 米田謙太(北海道大学)
09:30	V228a 東京大学アタカマ天文台 TAO 6.5m 望遠鏡計画 進捗報告 宮田隆志(東京大学)	13:48 V240a 国立天文台三鷹太陽フレア望遠鏡近赤 外偏光分光観測装置の SQL-DB と連携 した pipeline 処理と校正精度向上 森田諭(国立天文台)
09:42	V229a 東京大学アタカマ天文台 TAO 6.5m 望遠鏡用蒸着装置の性能評価 高橋英則(東京大学)	14:00 V241a 気象衛星ひまわり 8号の可視赤外多色 撮像データを用いた天体測光とその応用 宇野慎介(東京大学)
09:54	V230a TAO/MIMIZUKU用冷却チョッパの開発 : 常温制御試験 近藤智也(金沢大学)	14:12 V242b 可視偏光サーベイ計画 SGMAP: 北天銀 河面の可視近赤外サーベイと南天観測 の海外協力 川端弘治(広島大学)
10:06	V231a TAO/MIMIZUKU用冷却チョッパの開発 : 冷却動作試験 道藤翼(東京大学)	14:12 V243b かなた望遠鏡 / HONIR で得られる偏光 撮像データの自動解析システムの構築 及び性能評価 森文樹(広島大学)
10:18	V232a TAO 6.5m 望遠鏡用近赤外線観測装置 SWIMS: すばる望遠鏡での初期観測運用 報告 本原顕太郎(国立天文台/東京大学)	14:12 V244b かなた望遠鏡による情報理論・機械学 習を用いた自動意思決定システムの実 用性の検証 古賀柚希(広島大学)
10:30	V233a 近赤外線面分光ユニット SWIMS-IFU 開 発状況: スライスミラーアレイ +POO の 超精密切削加工と X 線 CT による評価 櫛引洸佑(東京大学)	14:24 V245b 点回折干渉計方式を用いた補償光学用 波面センサの開発 津久井遼(京都大学)
10:42	V234a 広視野近赤外マイクロレンズサーベイ 望遠鏡 PRIME の進捗報告 宮崎翔太(大阪大学)	14:24 V246b 偏光 2 チャンネル型位相マスクコロナグ ラフのための焦点面波面センサーの開発 大平泰広(北海道大学)
10:54	V235a PRIME望遠鏡 H-bandテストカメラの開発 と展望 山響(大阪大学)	14:24 V247b フォトニック結晶にもとづく広帯域離散型 6 次ベクトル渦マスクの設計 林寛昭(北海道大学)
11:06	質疑応答(10分)	

V3. 観測機器 (X線・ γ 線)

14:36	V248b 飛騨天文台太陽磁場活動望遠鏡の観測とデータ処理の自動化 永田伸一(京都大学)	9月13日(月)午前・D会場
14:36	V249b 解析手法改善によるなゆた望遠鏡近赤外カメラ NIC の高精度化と、遠方 QSO モニタリングへの展望 斎藤智樹(兵庫県立大学)	09:30 V301a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 X線望遠鏡(XMA)開発の現状(5) 林多佳由(NASA's GSFC, UMBC)
	V250c Shack-Hartmann センサーを用いた波面位相・振幅ゆらぎの総合的計測 三浦則明(北見工業大学)	09:42 V302a X線分光撮像衛星 XRISM 搭載 Resolve の開発の現状 VII 石崎欣尚(東京都立大学)
	V251c 低融点金属を用いた反射望遠鏡の開発に関する基礎的研究 今泉瑛介(東京工業大学)	09:54 V303a XRISM 衛星搭載精密 X線分光装置 Resolveの単体試験時の低周波帯ノイズ解析 小湊菜央(立教大学)
	V252c 連星スペックル差測光における確度向上のためのデータ解析手法の検討 桑村進(北見工業大学)	10:06 V304a X線分光撮像衛星(XRISM)搭載軟X線撮像装置(Xtend)の開発の現状(6) 富田洋(宇宙航空研究開発機構)
14:48	質疑応答(10分)	10:18 V305a XRISM 衛星搭載 Xtend の Contamination Blocking Filter の X線透過率の測定 角町駿(東京理科大学)
		10:30 V306a X線偏光観測衛星 IXPEへの参加現状(7) 玉川徹(理化学研究所)
		10:42 V307a MeVガンマ線観測衛星AMEGO計画におけるコンプトン再構成プログラムのスタディー 末岡耕平(広島大学)
		10:54 V308a GRAMS 計画 3: MeV ガンマ線観測・ダークマター探索気球実験 一戸悠人(立教大学)
		11:06 V309a Cherenkov Telescope Array (CTA) 計画: 全体報告(20) 野田浩司(東京大学)
		11:18 V310b 硬 X線偏光検出気球実験 XL-Calibur 用 X線望遠鏡の開発(2) 鴨川航(大阪大学)
		11:18 V311b グラフェン超薄膜を用いた高機能汎用型光学素子の開発 柏倉一斗(名古屋大学)
		11:18 V312b 次世代 X線偏光観測衛星を目指した高温塑性変形 Si 湾曲ブラッグ反射光学系のミッション検討 内野友樹(東京都立大学)
		11:30 質疑応答(10分)

V3. 観測機器

9月13日(月)午後・D会場		9月14日(火)午前・D会場	
13:00	V313a 軟X線から硬X線の広帯域を高感度で撮像分光する衛星計画 FORCE の現状 (12) 森浩二(宮崎大学)	09:30	V324a ダークバリオンの探査ミッション Super DIOS の開発に向けた検討 VIII 佐藤浩介(埼玉大学)
13:12	V314a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 48 : PDD 構造におけるリーク電流の原因特定とその解決手法 行元雅貴(宮崎大学)	09:42	V325a 電鍍技術を用いた飛翔体搭載用高角度分解能多重薄板型 X 線望遠鏡の開発(5) 瀧川歩(名古屋大学)
13:24	V315a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 49 : PDD 構造における分光性能のウェルの不純物濃度依存性の評価 米村修斗(宮崎大学)	09:54	V326a PhoENiX 衛星計画に向けた高精度 Wolter ミラー保持機構の検討 坂尾太郎(宇宙航空研究開発機構)
13:36	V316a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 50:Double-SOI 構造を導入した X 線 SOI ピクセル検出器の放射線損傷による暗電流増加の原因究明 北島正隼(東京理科大学)	10:06	V327a 太陽観測ロケット実験 FOXSI-4 に向けたワイドギャップ CdTe ストリップ検出器の開発と性能評価 長澤俊作(東京大学 Kavli IPMU)
13:48	V317a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 51 : Double-SOI 構造の面積 X 線 SOI ピクセル検出器の性能評価 三枝紀嵐(宮崎大学)	10:18	V328a 広視野を少数の撮像素子でカバーする多重化ロブスターアイ X 線光学系 内山慶祐(東京理科大学/理化学研究所)
14:00	V318a SOI 技術を用いた新型 X 線撮像分光器の開発 52: X 線 SOI ピクセル検出器のトリガー性能評価 山田龍(京都大学)	10:30	V329a 広視野 X 線集光系の光跡シミュレーション 杉田聡司(青山学院大学)
14:12	V319a 地球磁気圏 X 線撮像計画 GEO-X (GEOspace X-ray imager) の現状 III 江副祐一郎(東京都立大学)	10:42	V330a 広視野 X 線集光系のための X 線ミラーの開発 清田力(青山学院大学)
14:24	V320a 明るい X 線天体を狙う 6U キューブサット NinjaSat の進捗 武田朋志(東京理科大学/理化学研究所)	10:54	V331a X 線ビームラインによる Lobster Eye Optics の性能評価 後藤初音(金沢大学)
14:36	V321a NinjaSat における信号波形による X 線と荷電粒子の弁別方法の開発 吉田勇登(東京理科大学/理化学研究所)	11:06	V332a 面積 CMOS イメージセンサ GSENSE 4040BSI の軟 X 線基礎性能評価 盛顯捷(青山学院大学)
14:48	V322a NinjaSat に搭載する観測機器のコンポーネント環境試験 沼澤正樹(理化学研究所)	11:18	V333a X 線干渉計に向け TES を応用する高精度 X 線センサーの開発 野田博文(大阪大学)
15:00	V323b NinjaSat に搭載するアナログ信号処理基板の開発 大田尚享(東京理科大学)	11:30	質疑応答(10分)
15:12	質疑応答(10分)		

W. コンパクト天体

9月13日(月) 午前・B会場		11:42	W13b 一般相対論的輻射磁気流体コード INAZUMA を用いたブラックホール降着流シミュレーションによるスピン依存性 朝比奈雄太(筑波大学)
09:30	W01a 静穏時のブラックホール連星での強磁場降着流の形成と電磁波・宇宙線放射 木村成生(東北大学)	11:42	W14b Super-Eddington 天体に対する dusty-gas の Hoyle-Lyttleton 降着: 円盤面の傾きによる非軸対称構造について 尾形絵梨花(筑波大学)
09:42	W02a 自転するブラックホール近傍での磁気リコネクションの数値計算 小出美香(一ツ葉高校熊本)		W15c Boltzmann法によるカー・ブラックホール近傍の輻射輸送 小川拓未(筑波大学)
09:54	W03a BTZ ブラックストリングまわりの磁気圏中を伝播するアルベン波の数値計算 小出眞路(熊本大学)		
10:06	W04a 測地線に沿った時間依存型一般相対論的輻射輸送計算コードの開発 高橋幹弥(筑波大学)	11:54	質疑応答(10分)
10:18	W05a 大局的輻射流体計算による超臨界降着流からのアウトフローの構造解明 芳岡尚悟(京都大学)		
10:30	W06a MAXI,Swiftを用いたブラックホールX線連星アウトバースト光度変動の相似性解析 栗原明稀(東京大学)		
10:42	W07a ダスト散乱の影響を考慮した MAXI J1631-479 のエネルギースペクトル解析 小林浩平(日本大学)		
10:54	W08a はくちょう座 X-1 の Dip の観測 八木駿介(立教大学)		
11:06	W09a 低質量 X 線連星 GRS 1915+105 の X 線で異常に暗い期間での近赤外線の放射起源について 今里郁弥(広島大学)		
11:18	W10a MAXI J1820+070 の時系列解析によるブラックホール周辺構造の解明 大間々知輝(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)		
11:30	W11a いかくじゅう座 V723 の視線速度変動における潮汐変形の影響のモデル化 増田賢人(大阪大学)		
11:42	W12b 全天 X 線監視装置 MAXI/GSC のデータを用いた MAXI J1820+070 と MAXI J1631-479 のパワースペクトル解析 清野光輝(日本大学)		

W. コンパクト天体

9月13日(月) 午後・B会場		9月14日(火) 午前・B会場	
13:00	W16a Wakefield Acceleration in a Jet from a NDAF around a Black Hole Yoshiaki Kato (RIKEN)	09:30	W28a 中性子星 X 線連星 Aql X-1 の X 線及び可視光変動の研究 庭野聖史(東京工業大学)
13:12	W17a 超臨界ブラックホール降着流におけるライマンアルファ輝線の輻射力の計算 武者野拓也(筑波大学)	09:42	W29a MAXIとNICERによるSwift J1858.6-0814のスペクトル 坂井謙斗(芝浦工業大学)
13:24	W18a 潮汐破壊現象からの電波放射の包括的解析 松本達矢(東京大学)	09:54	W30a GS 1826-24 の X 線バースト観測による中性子星の物理過程の制限 土肥明(九州大学)
13:36	W19a Gaia によるブラックホール連星の観測可能性の連星進化パラメータ依存性 鹿内みのり(東京大学)	10:06	W31a NICER による X 線連星 Circinus X-1 の軌道周期を完全にカバーした観測 富永愛侑(東京大学/宇宙航空研究開発機構)
13:48	W20a ブラックホール・中性子星連星の合体に対する放射輸送磁気流体数値相対論シミュレーション 林航大(京都大学)	10:18	W32a 大質量 X 線連星 Cen X-3 の軌道位相に伴う放射機構の変化 丹波翼(東京大学)
14:00	W21a Regulation of gas accretion by cocoon from stellar-mass BHs in AGN disks 田川寛通(東北大学)	10:30	W33a X 線連星内での非対称な恒星風駆動と降着 平井遼介(Monash 大学)
14:12	W22a Merging binary black holes with misaligned spins from primordial binaries Alessandro A. Trani (The University of Tokyo)	10:42	W34a 磁気回転風に関する自己相似解 黄天鋭(東京大学)
14:24	W23a Impact of initial mass functions on the dynamical channel of gravitational wave sources Long Wang (The University of Tokyo)	10:54	W35a X 線観測による矮新星 SS Cyg の硬 X 線放射領域の空間分布の解明 武尾舞(東京都立大学)
14:36	W24a 散開星団における連星ブラックホールの形成とスピン進化 熊本淳(東京大学)	11:06	W36a 木曾 Tomo-e Gozen と NICER 望遠鏡による矮新星 SS Cyg の可視光・X 線同時高速観測 西野耀平(東京大学)
14:48	W25a 超巨大バイナリー・ブラックホールにおいて重力波発生のない状況について 大家寛(東北大学)	11:18	W37a 再帰型ニューラルネットワークを用いた高密度天体の X 線強度変動のパワースペクトル推定 牧田佳大(立教大学)
15:00	W26b P3T- DENEb を用いた球状星団内の連星形成シミュレーション 吉成直都(東京大学)	11:30	W38a 矮新星 MASTER OT J004527.52+503213.8 の 2020 年 outburst 時における測光観測とその解析 松井瀬奈(名古屋大学)
15:00	W27b Eccentric-Kozai-Lidov 機構による BH 連星の合体: Post-Newtonian 効果 稲熊穂乃里(東京大学)	11:42	W39b 食を用いた IW And 型矮新星のアウトバースト機構の検証 II 柴田真晃(京都大学)
15:12	質疑応答(10分)		

11:42	W40b	木曾シュミット、せいめいで観測可能な可視光パルサーの調査 高橋尚人(東京大学)	9月14日(火) 午後・B会場
11:42	W41b	「すざく」による低質量X線連星EXO 0748-676のdips/burstsの解析 中間洋子(東京工業大学)	13:00 W43a
	W42c	Systematic search of optically thick magnetic rotating wind solutions for double white dwarf merger remnants : sub-Chandrasekhar mass case Toshikazu Shigeyama (The University of Tokyo)	13:12 W44a
11:54		質疑応答(10分)	13:24 W45a
			13:36 W46a
			13:48 W47a
			14:00 W48a
			14:12 W49a
			14:24 W50a
			14:36 W51a
			14:48 W52a
			15:00

9月15日(水) 午前・B会場		9月15日(水) 午後・B会場	
09:30	W53a マグネター SGR 1900+14 の硬 X 線パルス位相変調: エネルギー依存性の発見 牧島一夫(東京大学)	13:00	W62a Relativistic radiation mediated shocks in photon starved regime 伊藤裕貴(理化学研究所)
09:42	W54a 超強磁場中性子星「マグネター」のバーストの時間的な性質(4) 中川友進(海洋研究開発機構)	13:12	W63a GW170817 の年スケール X 線光度曲線の Fallback 降着モデル 石崎渉(京都大学)
09:54	W55a FRB 121102 と連星コムモデル 和田知己(京都大学)	13:24	W64a 相対論的無衝突衝撃波での乱流ダイナモによる磁場増幅 富田沙羅(東北大学)
10:06	W56a 磁気中性子星におけるクラストの弾性力は有効か 小島康史(広島大学)	13:36	W65a The Cocoon Breakout and Emission in Binary Neutron Star Mergers HAMID HAMIDANI (Kyoto University)
10:18	W57a 磁化中性子星への超臨界降着によるアウトフロー; 駆動機構とその温度について 井上壮大(筑波大学)	13:48	W66a ガンマ線バースト残光で探る trans-relativistic 衝撃波における粒子加速 高橋和也(京都大学)
10:30	W58a かなた望遠鏡と光子計数法による Crab パルサー巨大電波パルスの可視電波同時観測 中森健之(山形大学)	14:00	W67a Highlights of Galactic observations with the MAGIC telescopes Hadasch, Daniela (The University of Tokyo)
10:42	W59a パルサー星雲広帯域スペクトルの系統解析 馬場彩(東京大学)	14:12	W68a MAGIC 望遠鏡による GRB 201015A と GRB 201216C の観測 寺内健太(京都大学)
10:54	W60a クォーク物質を含む中性子星の冷却と超流動・超伝導状態 野田常雄(久留米工業大学)	14:24	W69a MAXI/GSC が検出した 2021 年度前半の突発現象 - X線新星 MAXI J0903-531 と MAXI J1803-298 の発見 根来均(日本大学)
11:06	W61a 強い多重極磁場を伴った中性子星表面の磁気山の構造 藤澤幸太郎(東京大学)	14:36	W70a MAXI が観測した GRB の系統的解析 平松裕貴(青山学院大学)
11:18	質疑応答(10分)	14:48	W71a OHMAN (MAXI-NICER ISS 上連携) の準備状況 三原建弘(理化学研究所)
		15:00	質疑応答(10分)

X. 銀河形成・進化

9月13日(月) 午後・H会場		14:36	X11b	原始銀河団領域 SSA22 におけるJVLA 5cm電波連続光観測 : I. ソースカタログの作成 松田慧一(名古屋大学)
13:00	X01a			$z \approx 7$ クエーサーにおける大規模アウトフローと始原的共進化関係 泉拓磨(国立天文台/総合研究大学院大学)
13:12	X02a	14:48	X12b	銀河ハローでのダスト進化と小さなダストの起源 平下博之(ASIAA)
		14:48	X13b	近傍銀河における銀河衝突が星形成率に与える影響の定量的検証 藤谷愛美(名古屋大学)
13:24	X03a		X14c	分子雲の乱流状態に基づく星形成モデルと銀河シミュレーション 堀江秀(北海道大学)
		15:00		質疑応答(10分)
13:36	X04a			ALMA Lensing Cluster Survey: A Sub-kpc View of [CII] Emission from a Sub-L* Galaxy in the Epoch of Reionization 藤本征史(Cosmic Dawn Center, Niels Bohr Institute)
13:48	X05a			Low star-formation activity and low gas content in quiescent galaxies at $z > 3.5$ constrained with ALMA Tomoko Suzuki (University of Groningen)
14:00	X06a			Finding gravitational lenses among half a million Herschel sources Tom Johannes Lucinde Cyrillus Bakx (Nagoya University)
14:12	X07a			「あかり」北黄極ワイドサーベイ領域における Dust Obscured Galaxies の特徴 榎木谷海(総合研究大学院大学/宇宙航空研究開発機構)
14:24	X08a			An ACA Survey of [C I] $3P_1-3P_0$, CO $J=4-3$, and Dust Continuum in Nearby U/LIRGs 道山知成(大阪大学)
14:36	X09b			ALMA lensing cluster survey (ALCS): Overview and initial results KOHNO Kotaro (The University of Tokyo)
14:36	X10b			JWST 撮像観測シミュレーションによる LIRGs 観測における点源の抽出限界 星岡駿志(広島大学)

X. 銀河形成

9月14日(火) 午前・H会場		9月14日(火) 午後・H会場	
09:30	X15a ずばるによる極金属欠乏銀河観測: He量から探る初期宇宙の熱史と新素粒子 松本明訓(東京大学)	13:00	X25a コア崩壊型超新星爆発を用いた遠方銀河の初期質量関数への制限 青山尚平(東京大学)
09:42	X16a 電離スペクトルから迫る形成初期銀河の強い HeII 輝線の起源 梅田滉也(東京大学)	13:12	X26a Super-Resolution with Subaru/HSC Data I: Major Merger Fractions of $L_{UV} \sim 3-15 L_{UV}^*$ Dropout Galaxies at $z \sim 4-7$ 澁谷隆俊(北見工業大学)
09:54	X17a 形成初期銀河における高い鉄酸素比が示唆する対不安定型超新星の兆候 磯部優樹(東京大学)	13:24	X27a 赤方偏移 $3 < z < 3.7$ における極めて強い [OIII] 輝線を示す銀河の近赤外線分光観測による物理的性質 小野寺仁人(国立天文台)
10:06	X18a 機械学習と分光観測データで探る極金属欠乏銀河とその形成メカニズム 西垣萌香(総合研究大学院大学)	13:36	X28a The diversity of IGM-galaxy connection at redshift $z = 2-3$ 百瀬莉恵子(東京大学)
10:18	X19a ずばる望遠鏡 HSC で探る宇宙再電離非一様性の物理的起源 石本梨花子(東京大学)	13:48	X29a $2 < z < 4.5$ における Ly α 輝線銀河と大質量銀河がなす環境の相互関係 伊藤慧(総合研究大学院大学 / 国立天文台)
10:30	X20a CHORUS中性水素マッピング:ライマン α 輝線銀河とライマンブレイク銀河の個数比による宇宙の中性水素割合の推定法 井上昭雄(早稲田大学)	14:00	X30a A Wide and Deep Exploration of Radio Galaxies with Subaru HSC(WERGS): $z \sim 4$ の暗い電波銀河周辺環境の統計的理解 内山久和(愛媛大学)
10:42	X21a CHORUS中性水素マッピング:HSCで挑む宇宙再電離の空間的非一様性の解明 吉岡岳洋(東京大学)	14:12	X31a $z = 2.4$ 53W002 原始銀河団における大質量銀河の SED 解析 米倉直紀(愛媛大学)
10:54	X22a Revealing the cosmic reionization history with fast radio bursts in the era of Square Kilometre Array 橋本哲也(国立清華大学)	14:24	X32a Exploring chemical evolution of star-forming galaxies at cosmic noon 柏野大地(名古屋大学)
11:06	X23a $z \sim 7.8$ における H α 輝線天体の探査と星形成率密度への制限 浅田喜久(京都大学)	14:36	X33a A systematic search for galaxy protocluster cores at the transition epoch of star formation activity 安藤誠(東京大学)
11:18	X24a Luminosity Function and Clustering from ~ 4 Million Star Forming Galaxies at $z \sim 2-7$ 播金優一(東京大学)	14:48	X34a Swimmy Survey: 深層異常検知で拓くずばる HSC 希少銀河探査 田中匠(東京大学)
11:30	質疑応答(10分)	15:00	質疑応答(10分)

9月15日(水) 午前・H会場		9月15日(水) 午後・H会場	
09:30	X35a Uchuu simulation と準解析的モデルで探る高赤方偏移クエーサー形成 大木平(千葉大学)	13:00	X45a 低質量ダークマターハローの成長過程について 数野優大(筑波大学)
09:42	X36a Evolution of high-redshift quasar hosts and promotion of massive black hole seed formation 稲吉恒平(北京大学)	13:12	X46a 銀河衝突によるダークマター欠乏銀河の形成: 金属量依存性について 大滝恒輝(筑波大学)
09:54	X37a 原始銀河内における超大質量星および中間質量ブラックホールの形成 豊内大輔(東京大学)	13:24	X47a 局所銀河群外におけるミッシングサテライト問題への統計的検証 梨本真志(国立天文台)
10:06	X38a 機械学習を用いた宇宙論的 N 体シミュレーションの補間 本間慎一郎(千葉大学)	13:36	X48a HSC と Gaia データを用いた銀河系ハローサブ構造の恒星種族と運動 鈴木善久(東北大学)
10:18	X39a 高分解能宇宙論的シミュレーションを用いた、ダークマター自己相互作用モデルの制限 石山智明(千葉大学)	13:48	X49a Gaia データを用いた銀河系恒星ハローの広領域の化学動力学構造 佐藤元太(東北大学)
10:30	X40a 銀河合体による超低光度矮小銀河ハローの形成 垂水勇太(東京大学)	14:00	X50a Detailed Analysis of the Resolved Kennicutt-Schmidt Law with COMING 竹内努(名古屋大学/統計数理研究所)
10:42	X41a 原始銀河団中銀河の $\text{Ly}\alpha \cdot \text{H}\alpha$ 放射とその星形成史 福島啓太(大阪大学)	14:12	X51a Analysis of the spatially resolved SFR-M relation for DustPedia galaxies 施文(名古屋大学)
10:54	X42a AGN Jet Feedback Model for Galaxy Simulation Abednego Wiliardy (Osaka University)	14:24	X52a Spatially resolved mass-metallicity relation of SDSS-MaNGA galaxy pairs Kiyooki Christopher Omori (Nagoya University)
11:06	X43a 多相アウトフローを考慮した超新星フィードバックモデルの構築 奥裕理(大阪大学)	14:36	X53a 空間分解した近傍渦巻銀河におけるダスト減光量と星形成率, 星質量関係 北條妙(名古屋大学)
11:18	X44a 深層学習を用いた超新星爆発によるシェル膨張の予測 平島敬也(東京大学)	14:48	X54a 機械学習を用いた銀河の衝突と合体が活動銀河核に及ぼす影響の評価 小林宇海(総合研究大学院大学)
11:30	質疑応答(10分)	15:00	X55a Understanding Galaxy Evolution through Machine Learning Suchetha Cooray (Nagoya University)
		15:12	質疑応答(10分)

Y. 天文教育・広報普及・その他

9月13日(月) 午前・G会場		9月13日(月) 午後・G会場	
09:30	Y01a ふれあい天文学:11年目の挑戦 - 参加者アンケートから分かること - 縣秀彦(国立天文台)	13:00	Y13a Tomo-e Gozen Sky Atlas の公開 瀧田怜(東京大学)
09:42	Y02a はやぶさ2プロジェクトにおける教育・広報・アウトリーチ活動 吉川真(宇宙航空研究開発機構)	13:12	Y14a 光害の自動測定手法の開発と美星天文台における夜空の明るさの推移 伊藤亮介(井原市美星天文台)
09:54	Y03a 国立天文台「市民天文学」プロジェクト GALAXY CRUISE 参加者の属性 臼田 - 佐藤功美子(国立天文台)	13:24	Y15a 天文シミュレーションソフト Mitaka のコマンド実行機能 加藤恒彦(国立天文台)
10:06	Y04a 「はやぶさ2」のメディアリレーション 生田ちさと(宇宙航空研究開発機構)	13:36	Y16a キトラ古墳・天文図/ダジック・アースの活用 土井正治(アクトパル宇治(天文ボランティア))
10:18	Y05a 物理・探究授業のための超小型衛星デモ機教材の構想 内山秀樹(静岡大学)	13:48	Y17a 戦前の緯度観測所に勤務した或る女性所員の生涯 馬場幸栄(一橋大学)
10:30	Y06a 東京学芸大学の新 40cm 鏡と制御システムの開発 2 土橋一仁(東京学芸大学)	14:00	Y18a 市民科学による「長野県は宇宙県」の近代天文学史 100 年の構築に向けて II 大西浩次(長野工業高等専門学校)
10:42	Y07a デジタル Diamond Mandala Matrix による宇宙に関する反転学習型オンライン授業の実践例と分析 青木成一郎(京都情報大学院大学)	14:12	Y19a 長野県における星空環境保護活動 ~光害防止に係る県条例改正に向けて~ 衣笠健三(国立天文台)
10:54	Y08a 動画配信プラットフォーム YouTube を用いた天文普及活動報告 萩野正興(日本スペースガード協会)	14:24	Y20a 長野県天文文化研究会の現状~諏訪天文同好会の多様な活動~ 陶山徹(長野市立博物館)
11:06	Y09a 国立天文台三鷹「オンライン定例観望会」の試みと今後の展望 桑田敦基(東京大学)	14:36	Y21a 「ジャパンサーチ」の天文教育普及研究利用 玉澤春史(京都大学)
11:18	Y10a 自然科学研究機構野辺山展示室オンライン 4D2U シアター実施報告 林満(国立天文台)	14:48	質疑応答(10分)
	Y11c 東京学芸大学の新 40cm 鏡と制御システムの開発 3 富田飛翔(東京学芸大学)		
	Y12c 外国語学部における天文学実習の取り組み 福江慧(京都産業大学)		
11:30	質疑応答(10分)		

2021年8月20日発行

年会実行委員会

委員長	古澤久徳	(国立天文台)	
委員	和泉 究	(宇宙航空研究開発機構)	
	岩切 涉	(中央大学)	
	大家 瑶子	(東京大学)	
	鈴木 知治	(中部大学)	
	甘日出 文洋	(東京大学)	
	藤井 友香	(国立天文台)	
	堀田 英之	(千葉大学)	
	松岡 良樹	(愛媛大学)	
	浅井 步	(京都大学)	保育室担当
	市来 淨與	(名古屋大学)	保育室担当

年会開催地理事

米原厚憲 (京都産業大学)